

平成 27 年度
うるま市こども議会会議録

平成 27 年 8 月 21 日
(1 日間)



うるま市教育委員会
共催：
うるま市議会

うるま市合併10周年記念
「うるま市こども議会会議録」発刊によせて

本年度うるま市合併10周年記念事業として、うるま市教育委員会・うるま市議会共催による「うるま市こども議会」を平成27年8月21日開催いたしました。

こども議会は、市内各中学校の生徒25名がこども議員として、議会の仕組みと運営について実体験をとおり、民主的な政治がどのように進められているかの理解を深め、日ごろ行政に抱いている疑問等について議論し、子ども達の新鮮な発想をうるま市のまちづくりに反映させることを目的としております。

次世代を担うこども議員の堂々と質問する逞しい姿に、大変感動いたしました。こども議員の皆さんには、この体験をとおして行政への関心をさらに高め積極的にうるま市のまちづくりにかかわる機会になったと確信し、こども達の今後の成長を大いに期待しております。

この会議録は、前半部分にはこども議会の会議記録（「うるま市こども議会宣言」を含む。）を収録し、後半部分には関連資料として、こども議会議員の感想文及びこども議会本会議開催に向けてのオリエンテーション資料と現場風景写真、さらに本議会のこども議員の真剣な質問姿等のスナップ写真を収録いたしました。

こども議会の開催に際しましてご協力をいただきましたうるま市、うるま市議会及び学校関係者並びに傍聴いただきました市民の皆様には厚く御礼を申し上げます。今後とも、こども達を温かく見守っていただきますと共に、うるま市教育行政にご支援くださいます様お願い申し上げます。

平成27年12月吉日
うるま市教育委員会
教育長 栄門 忠光

第 号

任 命 証

うるま市こども議会の開催にあたり
うるま市こども議会議員に任命する

平成 27 年 7 月 15 日

うるま市教育委員会
教育長 栄門 忠光

平成27年度 うるま市こども議会議員名簿

議席 番号	中 学 校 名	学年	名 前	ふ り が な	備 考
1	与勝中学校	3	島袋 優	しまぶくろ ゆう	会議録署名議員
2	石川中学校	2	與那嶺 真弓	よなみね まゆみ	会議録署名議員
3	与勝第二中学校	2	長濱 光希	ながはま みつき	宣言決議賛成者
4	伊波中学校	1	外間 弥音	ほかま みおん	宣言決議賛成者
5	津堅中学校	3	具志川 優梨	ぐしかわ ゆうり	宣言決議賛成者
6	高江洲中学校	1	玉城 颯力	たまき はやて	
7	あげな中学校	1	與古田 彩加	よこだ あやか	副議長
8	彩橋中学校	3	桃原 琉花	とうばる りゅうか	
9	具志川東中学校	2	又吉 敏樹	またよし としき	
10	伊波中学校	1	永吉 空未	ながよし そらみ	
11	具志川中学校	3	祖納 青依	そな あおい	
12	与勝中学校	3	山城 竣平	やましろ しゅんぺい	
13	あげな中学校	2	古謝 さくら	こじゃ さくら	
14	具志川東中学校	2	宮城 力志	みやぎ りきし	
15	津堅中学校	3	伊覇 千聖	いは ちさと	
16	具志川中学校	3	島袋 琉	しまぶくろ りゅう	
17	石川中学校	2	山城 亜衣璃	やましろ あいり	
18	あげな中学校	3	金城 昂	きんじょう すばる	
19	高江洲中学校	3	高橋 美結	たかはし みゆ	議 長
20	具志川中学校	3	大湾 咲希	おおわん さき	
21	具志川東中学校	3	上原 渉	うえはら わたる	
22	与勝第二中学校	3	山根 咲笑	やまね さえ	
23	彩橋中学校	3	伊藤 なぎさ	いとう なぎさ	
24	高江洲中学校	3	名護 峻河	なご りょうが	宣言決議(案)提案者
25	与勝中学校	3	森根 愛夏	もりね あいか	

平成 27 年度

うるま市こども議会会議録

うるま市教育委員会
共催：
うるま市議会

目 次

○出席議員	1
○議事日程第1号	3
○日程第1 うるま市長あいさつ（島袋 俊夫）	3
○日程第2 激励のあいさつ（市議会議長 大屋 政善）	4
○日程第3 会議録署名議員の指名	5
○日程第4 会期の決定について	5
○日程第5 一般質問	5
1番 島 袋 優（しまぶくろ ゆう）議員	5
2番 與那嶺 真 弓（よなみね まゆみ）議員	7
3番 長 濱 光 希（ながはま みつき）議員	8
4番 外 間 弥 音（ほかま みおん）議員	9
5番 具志川 優 梨（ぐしかわ ゆうり）議員	11
6番 玉 城 颯 力（たまき はやて）議員	12
7番 與古田 彩 加（よこだ あやか）議員	14
8番 桃 原 琉 花（とうばる りゅうか）議員	15
9番 又 吉 敏 樹（またよし としき）議員	16
10番 永 吉 空 未（ながよし そらみ）議員	17
11番 祖 納 青 依（そな あおい）議員	19
12番 山 城 竣 平（やましろ しゅんぺい）議員	20
13番 古 謝 さくら（こじゃ さくら）議員	22
14番 宮 城 力 志（みやぎ りきし）議員	24
15番 伊 覇 千 聖（いは ちさと）議員	27
16番 島 袋 琉（しまぶくろ りゅう）議員	28
17番 山 城 亜衣璃（やましろ あいり）議員	29
18番 金 城 昂（きんじょう すばる）議員	30
19番 高 橋 美 結（たかはし みゆ）議員	33
20番 大 湾 咲 希（おおわん さき）議員	36

21番	上原 渉 (うえはら わたる) 議員	37
22番	山根 咲笑 (やまね さえ) 議員	39
23番	伊藤 なぎさ (いとう なぎさ) 議員	39
24番	名護 峻河 (なご りょうが) 議員	40
25番	森根 愛夏 (もりね あいか) 議員	42
○日程第6	こども議会宣言決議案	43
○日程第7	こども議会議長あいさつ	46
○日程第8	こども議会副議長あいさつ	46
○日程第9	教育長の講評	47
○資料		
	一般質問通告書	52
	こども議会に参加して (感想文)	79
	写真	91

うるま市こども議会

(1日目)

◎平成27年8月21日(金)

(午前10時00分開会)

◎出席議員(25名)

1番	島袋	優	14番	宮城	力志
2番	與那嶺	真弓	15番	伊覇	千聖
3番	長濱	光希	16番	島袋	琉
4番	外間	弥音	17番	山城	亜衣璃
5番	具志川	優梨	18番	金城	昂
6番	玉城	颯力	19番	高橋	美結
7番	與古田	彩加	20番	大湾	咲希
8番	桃原	琉花	21番	上原	涉
9番	又吉	敏樹	22番	山根	咲笑
10番	永吉	空未	23番	伊藤	なぎさ
11番	祖納	青依	24番	名護	峻河
12番	山城	竣平	25番	森根	愛夏
13番	古謝	さくら			

◎欠席議員(0名)

◎説明の為の出席者

市議会議長	大屋政善	経済部長	上間秀二
教育長	栄門忠光	建設部長	宮城吉和
市長	島袋俊夫	都市計画部長	島袋房善
副市長	榮野川盛治	水道部長	三浦正
企画部長	喜納修	消防長	照屋賢正
総務部長	天願雅也	会計管理者	船越一夫
福祉部長	山城弘	指導部長	嘉手苺弘美
市民部長	上門はるみ	教育部長	赤嶺悦三

◎議会事務局出席者

議会事務局長	沢	紙	孝	盛
議事課長	長	嶺		斉
議事係長	与那	嶺		昇
議事係	森	根	元	気
調査係長	新	屋	一	志
調査係	長	濱	一	史
庶務課長	志堅	原	忠	史
庶務係長	嘉	陽	宗	彦

◎教育委員会出席者

総務課長	祝	嶺	則	子
総務課企画調整係長	平	川		武
総務課企画調整係主査	長	谷	川	清博
総務課企画調整係	徳	盛	賢	美
指導課指導主事	新	垣	和	哉

◎各中学校出席者（担当教諭）

石川中学校	屋	良	朝	孝
伊波中学校	新	名		悟
あげな中学校	大	石	朗	子
具志川中学校	佐	久	川	ゆき香
具志川東中学校	上	間	康	代
高江洲中学校	宮	城	あ	すか
与勝中学校	伊	是	名	靖二
与勝第二中学校	新	屋	綾	乃
津堅中学校	安	森	大	樹
彩橋中学校	知	花	皆	子

◎議事日程第1号

- | | | | |
|----|-----------------------|-----|-------|
| 第1 | うるま市長あいさつ・・・うるま市役所 | 市長 | 島袋 俊夫 |
| 第2 | 激励のあいさつ・・・・・・うるま市議会 | 議長 | 大屋 政善 |
| 第3 | 会議録署名議員の指名 | | |
| 第4 | 会期の決定について | | |
| 第5 | 一般質問 | | |
| 第6 | こども議会宣言決議案 | | |
| 第7 | こども議会議長あいさつ | | |
| 第8 | こども議会副議長あいさつ | | |
| 第9 | 教育長の講評・・・・・・うるま市教育委員会 | 教育長 | 栄門 忠光 |
- 閉会

○議長（高橋 美結）

おはようございます。ただいまの出席議員は25名であります。定足数に達しておりますので、ただいまからうるま市合併10周年記念こども議会を開会いたします。

私は本日のこども議会の議長を務めます、高江洲中学校の高橋 美結です。皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。

これより、本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配付してあります議事日程第1号のとおりであります。

日程第1 うるま市長のあいさつ。

島袋 俊夫うるま市長、ご挨拶をお願いいたします。

○市長（島袋 俊夫）

皆さん、おはようございます。うるま市長の島袋 俊夫と申します。きょうはよろしくお願いいたします。

本日はうるま市教育委員会並びにうるま市議会の共催によりまして、うるま市合併10周年記念、うるま市こども議会が開催されますことを大変うれしく思います。ご尽力されました市内中学校の校長先生を初め、

指導に当たられました先生方、そして保護者の皆様方に心から厚く感謝を申し上げます。

うるま市こども議会は今回で3回目となります。私にとりましては、市長として平成24年の第2回に引き続き、二度目のこども議会となりますが、堂々と質問に立つこども議員の姿に、感動とともに未来を担う子どもたちのたくましさに期待と希望が大きくなったことを思い出します。

こども議会のねらいの中に、民主政治がどのように進められているのか、理解を深めることとあります。来年の夏の参議院選挙からは選挙権が18歳に引き下げられ、こども議員の皆さんも早い人は、3年後には選挙権を持つこととなります。今回のこども議会議員としての体験を通して民主政治についての理解を深め、選挙権の重要性を感じてもらえれば幸いです。そして、この体験が今後の皆様方の学校生活や皆さんの将来に必ずや生かされるものと願っております。この中から本物のバッジをつけて、この議席に座る方もいるかもしれません。そういう夢を見ているところで

ございます。

きょうは皆さんが一生懸命に取り組んできた質問や意見に対しまして、私を初め、各担当部長も誠心誠意お答えをいたしますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。また本日、引率で来られた先生方、そして保護者の皆様、そして議場及び各庁舎のテレビモニターでこのこども議会を傍聴されている皆様には、お忙しい中激励をしていただき、厚く感謝を申し上げます。うるま市の将来を担う大事なこどもたちでございますので、これからも皆様の温かい心で見守っていただきますようお願いするものでございます。

こども議会を開催していただきました関係者の皆様方に厚く感謝を申し上げ、本日のこども議会の成功と、皆様の健やかな成長を祈念申し上げます、冒頭の挨拶にかえさせていただきます。きょうは一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

○議長（高橋 美結）

ありがとうございました。

日程第2 激励のあいさつ。

激励のご挨拶をうるま市議会大屋 政善議長、お願ひいたします。

○うるま市議会議長（大屋 政善）

皆さん、おはようございます。激励のご挨拶を申し上げます。

ただいまご紹介いただきましたうるま市議会議長の 大屋 政善と申します。よろしくお願ひします。

皆さん、ご存じのように、市議会は4年に一度の選挙によって選ばれた議員により構成されております。現在、うるま市は30

名の市議會議員がおり、年4回の定例会と、必要に応じて臨時会が開催されております。

そして議員の活動、役割と申しますと、市長から市民の生活に必要な各種の事業を実施しようとするときに、議案を提出して議会に相談しなければなりません。それを議会は市民の立場から、「それはいいことだから早くやってください」、あるいは「まだ時期的に早いのではないですか?」、「または別の事業を先に優先すべきでは」など、いろいろな問題提起をしながら決定していくのが議会であります。

また、きょう皆さんがこれから行います市政に対する一般質問は、現在行われている行政サービスについて悪い点の改善を求めたり、よい点はさらに発展させる、また新しい事業の提案をすることを目的としております。

このように議会は市民の声を行政に反映させるために、非常に重要な役割を持っているところでございます。皆様の一般質問通告書を拝見いたしますと、どれをとっても素晴らしい内容のものばかりで、大変感心しております。また、皆さん方は必ずうるま市の将来を担っていくことは間違いありません。きょうの体験を生かして、将来、皆さんの中から議員になっていただける方がいればと心から期待しております。どうか本日のこども議会が所期の目的を達成されまして、議会の仕組みと運営を体験することによって、少しでもご理解をいただき、今後とも議会に関心を持っていただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、本日のこども議会を通して得られたことが日ごろの学生生活に生かされますことをご期待申し上げます。

て、ご挨拶いたします。きょうは頑張ってください。

○議長（高橋 美結）

ありがとうございました。
休憩いたします。

ここでうるま市議会議長が退席をされますので、しばらくお待ちください。

——【休憩】——

再開いたします。

日程第3 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、うるま市議会会議規則第88条の規定に準じまして、島袋優議員、與那嶺 真弓議員を指名いたします。

日程第4 会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。こども議会の会期は本日8月21日の1日間としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

——「異議なし」と言う者あり——

ご異議なしと認めます。よって、会期は1日間と決定いたしました。

日程第5 これより市政に対する一般質問を行います。

発言時間は当局答弁を含めず3分以内となっておりますので、あらかじめご了承を願います。通告がありますので、議席順に質問を許可いたします。初めに島袋 優議員の質問を許可いたします。島袋 優議員。

○1番 島袋 優議員

与勝中学校3年の島袋 優です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願います。

私は、よくテレビなどで沖縄県の特集をしているのを見かけます。そのたびに石垣島などが取材地に取り上げられているのを見て、私はもっとうるま市のことも取り上げてほしいなと思いました。

私は以前、「うるま市・盛岡市中学生交流事業」というものに参加しました。そこでは県外にうるま市のことをいろいろと伝えたりすることができ、また県外のこと私たちが知ることができたので、とてもいい体験をしました。また他県では、大震災での被災地の子供たちのために交流事業を行って、いろんな人と触れ合えるような取り組みをしているそうです。このように、交流事業では自分が知らなかったことを学べたり、逆に私たちがどんな暮らしや生活をしていたり、どんな文化や歴史があるかを他県の人たちに知ってもらうことができます。

でも、私が体験した交流事業では、中学2年生しか応募、参加することができないという決まりがありました。ですが、私はもっとたくさんの方がこのうるま市を広めるために参加することができればいいなと思いました。ですので、もっとたくさんの方が交流事業などに参加できるようにすることはできないでしょうか。また、ほかにも沖縄・うるま市を広めるために、私たちが何か取り組めることはないでしょうか。

○議長（高橋 美結）

島袋 優議員の質問に対する答弁を求め

ます。

○企画部長（喜納 修）

おはようございます。それでは島袋 優議員のご質問にお答えいたします。

島袋議員が参加しました岩手県盛岡市との交流事業は、平成24年7月にうるま市と盛岡市が友好都市の提携をきっかけに始まった事業で、中学2年生を対象にしております。両市の歴史、文化や生活習慣などについて、直接意見交換を交わすことにより、将来を担う広い知見と豊かな情操を持つ人材を育成するための事業であります。

参加対象を中学2年生に限定しているのは、3年生は受験等を控えていること、1年生は入学後間もないということもあり、学校でも部活などで中心的に活動している中学2年生にすることを両市で話し合っ決めております。島袋議員にはそのことを理解してほしいと思います。

うるま市では盛岡市との交流事業以外にも、高校生を対象としたサマーイングリッシュスクールや中部広域の事業で、小学生を対象とした最上広域との交流事業などがあります。また、スポーツや文化活動で優秀な成績を収めた場合には全国大会などにも派遣し、できるだけ多くの皆さんを支援していますので、派遣先でいろいろな交流ができていものと理解をしているところでございます。

それからと沖縄とうるま市のことを広めるために、私たちが何か取り組めることはないでしょうかというご質問がございますが、私が考えるには、地元のことをもっと知ること、学ぶことだと思います。歴史上の人物を参考にした場合、織田 信長、ある

いは徳川 家康のことはよく知っていても、ほぼ同じ時代にうるま市勝連で活躍した阿麻和利のことはどの程度知っているでしょうか。15年ほど前から勝連地域の子供たちが中心となって取り組んできた現代版組踊「肝高の阿麻和利」を通して、多くの人々に知られてきたと思いますが、実のところ、私もそうですが、多くの県民、市民は阿麻和利のことを詳しくは知らなかったと思います。それは学校の授業で勉強したり、伝記などを本で読んだことがなかったからだと思います。

このように勉強だけでなく、地元のことをよく学び理解することが、自分自身の能力を高め、他府県からのお客様に説明できるようになることが、私たちが沖縄やうるま市のことを広くアピールできる知識になると考えているところでございます。幸いなことに、うるま市にはエイサー、闘牛、獅子舞、伊波メンサーなどの伝統文化や勝連城跡、仲原遺跡などの史跡文化財など、他の地域に誇れる文化が数多くあります。また日本一の生産量を誇るモズクや津堅エンジン、黄金イモなどの特産物もあります。

私たち一人一人が興味ある分野についての知識を高め、県外からのお客様に対して説明することや、私たちが県外や海外に行ったときに、「うるま市にはこのようなすばらしい文化があります。世界遺産の勝連城跡、海中道路などすばらしい場所、景色があります」というような誇りを持って話しをすることが、うるま市を県内外に広める取り組みだと思います。

島袋議員を初め、中学生の皆様には残り少ない夏休み期間中、うるま市のもので興味があることを一つでも自由研究として取

り上げ、自分で資料を調べて勉強してみることを提案して、答弁いたします。

○1番 島袋 優議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで島袋 優議員の一般質問を終わります。

次に與那嶺 真弓議員の質問を許可いたします。與那嶺 真弓議員。

○2番 與那嶺 真弓議員

石川中学校2年の與那嶺 真弓です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

私たちのうるま市は市町村合併によって、石川、具志川、与那城、勝連の広い地域にわたる市になりました。人口も12万人余りになったと聞いています。大規模な店がオープンしたり、市街地の再開発でいろいろと発展している様子は、うるま市の市民としてとてもうれしいです。

しかし、合併によって地域が広がったことによって不都合も生まれています。広い地域でありながら、バスの路線が充実していないということです。私の住む石川のまちでもバスの本数が少なく、通学やショッピングに出かける場合は自家用車を使うことが多いようです。

そこで私は、うるま市が独自に市内循環バスを運行すれば、もっと便利になるのではないかと思います。移動手段を持たないお年寄りや、私たち子供が気軽に公立図書館、役所、スーパーなどに移動できる手段

があると、生活がより便利になると思います。うるま市は今後、市内循環バスを運営する予定はないのでしょうか。

また、その他交通手段に対しての環境整備等について、今後どのような計画があるのか教えてください。

○議長（高橋 美結）

與那嶺 真弓議員の質問に対する答弁を求めます。

○市民部長（上門 はるみ）

與那嶺 真弓議員のご質問にお答えいたします。

與那嶺議員は、現在、うるま市が庁舎間連絡バスを運行していることをご存じでしょうか。庁舎間連絡バスは平日の午前8時45分から午後4時30分の間に、2台の車で4庁舎とうるみんを巡回して運行しており、料金は無料になっております。このバスは合併により庁舎を利用する市民の利便性を確保するために、平成20年から運行していますが、来年の4月からは台数をふやすこととともに駐車場所をふやす予定ですので、多くの市民の皆様にご利用してほしいと思います。

與那嶺議員のご質問は、市が独自に市内循環バスを運行できないかとのことですが、うるま市としては現在運行している民間のバス事業者との競合を避ける必要があり、民間の路線バスが走っていない経路で庁舎間連絡バスを午前2回、午後2回、2台の車両を使って運行しております。うるま市が独自に有料の市内循環バスを運行することはできますが、そうした場合、民間のバス事業者やタクシー事業者と競合すること

で、民間のバス事業者が撤退することも想定されます。このことを難しい言葉では「民業圧迫」と言いますが、うるま市としては現在の民間の路線バスも維持しながら、競合しない庁舎間連絡バスの運行をふやすことを考えていますので、現在のところ、市が巡回バスを運行する予定はありません。

與那嶺議員を初め、中学生の皆様には夏休み期間中に庁舎間連絡バスを利用して市内を散策してみたいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれませんので、ぜひ一度乗ってみることをお勧めし、答弁いたします。

○2番 與那嶺 真弓議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで與那嶺 真弓議員の一般質問を終わります。

次に長濱 光希議員の質問を許可いたします。長濱 光希議員。

○3番 長濱 光希議員

与勝第二中学校2年の長濱 光希です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

去年の中ごろからうるま市役所の新庁舎の建設工事が着工されて、約1年になろうとしています。各地域にある庁舎が一つに集まり統合されるのはとても画期的なことで、これからのうるま市が繁栄していくために必要なことであり、妥当だと思います。なので、新庁舎が建設されることは、自分もうるま市が活発になると思うとうれしい

です。

しかし、新庁舎が建設されると、今まで使用されていた旧庁舎は使い道がなくなってしまうと思います。また、その旧庁舎が取り壊されるとすれば、大きな空き地になってしまうと思います。僕の通っている与勝第二中学校の近くには、整備されていない空き地があり、そのせいで青くてきれいな海や緑の木々のすばらしい風景を損ねてしまっています。そこで、できるだけただの空き地にするのではなく、公共の施設を建設したりすると風景を損ねず、有効活用できるのでいいと思います。

そこで質問ですが、使用されなくなった旧庁舎は今後何に使用されるのですか。また、取り壊さずにそのまま使用する場合もあるのですか。ご答弁をよろしくをお願いします。

○議長（高橋 美結）

長濱 光希議員の質問に対する答弁を求めます。

○総務部長（天願 雅也）

長濱 光希議員のご質問にお答えいたします。

長濱議員には新庁舎の建設及び庁舎の利活用に関心を示していただき、感謝いたします。

まず新庁舎についてご説明いたします。新庁舎は平成20年度から庁舎建設に向けて議論を行ってきています。実際の建設工事は平成25年から工事を始めていまして、ことしの11月に完成を予定しています。新庁舎は地下に駐車場を完備した地上3階建ての建物となります。ことしの12月には庁舎

の見学会も予定しておりますので、長濱議員もぜひお越しください。

ご質問の新しい庁舎が完成した後の石川、勝連、与那城の3庁舎の利用につきましては、長濱議員が不安を抱かれているようなただの空き地にならないよう、その有効活用について、現在、市の職員で構成された内部検討委員会で検討しているところです。うるま市では市町村合併により、庁舎を含め体育館や図書館、野球場など、多くの公共施設を抱えています。これから公共施設の将来の活用方法を示した、うるま市公共施設等マネジメント計画が平成25年度に策定され、施設の活用方針が示されています。その中において石川、勝連、与那城の3庁舎についても、それぞれの特徴を生かした活用方法について示しております。

まず石川庁舎につきましては、石川インターチェンジに近いなどから、交通の利便性を生かした人が集まる飲食施設や、うるま市のいろいろな情報を発信する情報センターのほか、多くの人交流できるイベント空間などの活用で、地域の経済効果や雇用創出につながる場を目指すとしております。また勝連庁舎は、建物の老朽化が進んでいることから取り壊しの方向で検討されていますが、世界遺産である勝連城跡に近く、うるま市の歴史、伝統文化の拠点となり得ることから、隣接するきむたかホールやシビックセンターなどを一体的に活用し、子供からお年寄りまでの多世代が交流できるスペースを設け、うるま市の歴史、文化を継承する場を目指すとしております。与那城庁舎は優れたロケーションやマリンスポーツが盛んに行われている点を生かし、マリンスポーツ利用者のレンタル施設、更

衣室やシャワー室、簡易宿泊所や休憩所、飲食施設などとすることで、地域住民や観光客も健康的で開放的な施設を目指すとしております。

3庁舎とも具体的な利用方法については、これからさまざまな課題をクリアし、地域や市民の皆様からいろんなアイデア、意見をいただきながら、各地域の活性化につながるような有効活用に向けて取り組んでいくこととしておりますので、市民の皆様期待に沿えるよう頑張っていきたいと考えています。以上です。

○3番 長濱 光希議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで長濱 光希議員の一般質問を終わります。

次に外間 弥音議員の質問を許可いたします。外間 弥音議員。

○4番 外間 弥音議員

伊波中学校1年の外間 弥音です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願ひします。

昨年、小学6年生と中学3年生を対象に行われた全国学力テストで、前回まで6年連続正答率が最下位だった小学6年生が24位と大幅に躍進し、さらに知識を見る算数Aにおいては、全国6位というすばらしい結果を収めました。

このような結果を収めることができたのはどのようなことがあったのかインターネットで調べてみると、県では学力テスト

上位の秋田県との交流を行っていることを知りました。ほかにも学力向上推進室というものをつくり、各学校を回って現状や実態を把握し、的確なアドバイスを行っていることなどを知りました。

私はこれらのことを知り、うるま市ではどのような対策をとっているのか、またそのための教育環境が整っているかが知りたいです。詳しく教えてください。

○議長（高橋 美結）

外間 弥音議員の質問に対する答弁を求めます。

○指導部長（嘉手苺 弘美）

外間 弥音議員のご質問にお答えいたします。

まず学力向上について、市の対策についてお答えいたします。市教育委員会では、学力向上に向けては幼児、児童、生徒一人一人に3つの力を身につけさせることを大きな目標にして取り組んでおります。1つ目の力は、読み・書き・計算などの学習の基礎的、基本的な知識・技能です。2つ目は、身につけた基礎的、基本的な知識・技能を活用して、より深く考えたり、ほかの意見を取り入れたり、人に伝えたりすることができる力です。3つ目の力は、夢や希望を持ち、そのために学ぶ意欲を持って自分で考えようとする力です。

この3つの力を身につけさせるために、市教育委員会は主に次の事業を実施しております。1つ目に、各学校がどのような取り組みを行っているのかを確認するために、学校訪問を実施しております。訪問は各学校、年に3回程度実施し、取り組みのよい

点を褒めたり、改善点をアドバイスしております。2点目に、どの先生にも児童生徒がわかる、質の高い授業を行ってもらうために、うるま市具体的実践9項目、共通実践項目というマニュアルを作成し、先生方の授業改善に向けた取り組みを行っております。その中でうるま市全体の先生方を集めて授業公開、そして授業に対する協議等も行ってもらっています。3点目に、学習指導や生徒指導など、いろいろな分野の研修会を行い、先生方の指導力の向上を図っております。4点目に、うるま市独自で市実力テストを行い、児童生徒の苦手な点を把握し、授業や補習指導でその改善を図っていくことや、生活実態アンケートを行い、各学校の課題を把握し、改善に努めております。5点目に、幼小中の連携の取り組みも推進しております。

次に教育環境は整っていますか？ につきましてお答えいたします。教育環境を整備するために、平成26年度に約3億2,000万円の予算を活用し、各小中学校の普通教室に電子黒板や書画カメラ、プロジェクターなどICT機器を設置し、デジタル教科書等を使ってのわかる授業の実践に向けて取り組んでおります。また平成24年度より、各小中学校に43名の学力向上学習支援員の配置や、彩橋小中学校に非常勤講師4名を配置するなど、個に応じた指導等を実施しております。そのほか外国人英語指導助手ALT14名を配置し、英語教育の強化充実も図っております。さらに特別支援ヘルパー43名を配置し、一人一人の児童生徒がよりわかる授業を受けることができるよう、取り組んでおります。

教育委員会では、うるま市の子供たちの

学力向上のために一人一人が学校が楽しい、授業が楽しいと思ってもらえるよう、指導方法の改善や教育環境の充実に向けて取り組みを行い、本市の児童生徒の学力の向上に努めてまいりたいと考えております。

○4番 外間 弥音議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで外間 弥音議員の一般質問を終わります。

次に具志川 優梨議員の質問を許可いたします。具志川 優梨議員。

○5番 具志川 優梨議員

津堅中学校3年の具志川 優梨です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

私は、今回こども議会を引き受けたとき、議会に興味がありませんでした。そこで議会だよりを読み、議会とは何なのか、何をするとところなのかを調べ、興味を持つところから始めました。

調べたところ、議会とは、議員によって国民、住民の意思を代表し合議する場、だとわかりました。調べていくうちにどんどん興味が出てきて、うるま市は今どんな取り組みをしているのか疑問に思いました。うるま市は「人と歴史が奏でる自然豊かなやすらぎと健康のまち うるま市」というテーマで取り組みを行っていると思いますが、私としては、うるま市が平和で安全、みんなが安心して暮らせるような楽しいまちでもあってほしいです。

そこで、うるま市が行っている取り組みベスト5を教えてください。また、その取り組みを行ったら、うるま市はとなるとお考えですか。教えてください。

○議長（高橋 美結）

具志川 優梨議員の質問に対する答弁を求めます。

○企画部長（喜納 修）

具志川 優梨議員のご質問にお答えいたします。

うるま市では島袋俊夫市長を先頭に、経済の活性化と失業率の改善、教育子育て支援の拡大、地元企業育成と誘致、そして地産地消の3つを目標に掲げ、さまざまな事業や取り組みを行っております。

その中からあえてベスト5の取り組みを挙げるとすると、農水産物直売所整備事業、次に生涯学習センター整備事業、勝連城跡周辺整備事業、安慶名土地区画整理事業、学校施設整備事業の5点になると思います。

1点目の農水産物直売所整備事業は、ジャスコ具志川店の近くに平成29年度内のオープンを目指して取り組んでおります。うるま市の農水産物の販売のほか、レストランや加工施設等も整備することから、市民所得の向上や新たな働く場を確保することができるものと考えています。

2点目の生涯学習センターの整備事業は、うるま市民芸術劇場の横に建設する予定で工事を進めており、平成29年度内のオープンの予定であります。この生涯学習センターの完成により、多くの市民が気軽に学習をする場所が確保されるだけでなく、うるま市の文化を発信する拠点になると考

えているところでございます。

3点目の勝連城跡周辺整備事業は、世界遺産である勝連城跡と、その周辺を世界遺産にふさわしい風格ある整備を行うことにより、訪れる観光客をふやし、うるま市の観光振興につなげていきたいと考えているところでございます。

4点目の安慶名土地区画整理事業は、平成15年度から整備がスタートしておりまして、平成28年度に完了する予定で今取り組んでいるところでございます。整備する前は道路も狭く、生活環境も悪い地域でしたが、整備が進むにつれてうるま市の中心地にふさわしいまちになってきたものと考えております。

5点目の学校施設整備事業につきましては、老朽化した校舎、体育館、幼稚園などの学校施設を整備する事業であります。整備することによって、児童生徒の学習環境を高め、安心して勉強できる環境を整備していく事業であります。うるま市の場合、合併により他の市町村に比べて学校の数も多く、合併後、整備を進めてきたところでございますが、今後も校舎や体育館などの施設整備を15カ所予定しているところでございます。

うるま市では将来のうるま市を担う子供たちのために厳しい財政状況ではありますが、整備計画に基づいた順番で着実に整備を行っていききたいと考えております。このような施設整備や取り組みを行うことにより、具志川 優梨議員の質問の中にあります市民が平和で安全に、安心して暮らせるような楽しいまちになると考えているところでございます。以上でございます。

○5番 具志川 優梨議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで具志川 優梨議員の一般質問を終わります。

次に玉城 颯力議員の質問を許可いたします。玉城 颯力議員。

○6番 玉城 颯力議員

うるま市のごみ袋がなぜ高いのか。

高江洲中学校1年の玉城 颯力です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

私はうるま市のごみ袋に対して、なぜ他市町村よりも値段が高いのかという疑問があります。小学5年生のころ、祖母と買い物に出かけたときに、祖母の住む沖縄市と、私の住むうるま市のごみ袋の値段が違うことに気づきました。うるま市のごみ袋は大きが30円、中が20円でした。ちなみに、隣の沖縄市では大きが20円、中が17円です。うるま市の各家庭で1カ月に4枚ごみ袋を使用するとして、1年間に使用するごみ袋の金額は大きが1,440円、中が960円です。沖縄市では大きが960円、中が816円です。沖縄市と比較すると、差額は大きが480円、中は144円でした。同じごみ袋なので、この差額に疑問を感じました。このことから、うるま市のごみ袋も沖縄市のごみ袋のように値下げをしたほうが良いと思います。ご答弁、よろしくをお願いします。

○議長（高橋 美結）

玉城 颯力議員の質問に対する答弁を求

めます。

○市民部長（上門 はるみ）

玉城 颯力議員のご質問にお答えします。

現在、うるま市の指定ごみ袋はサイズごとに設定され、1枚当たり特大が60円、大が30円、中が20円、小が17円となっています。種類は燃やせるごみ袋が特大、大、中、小の4種類。燃やせないごみ袋と資源ごみ袋は中、小の2種類を印刷製造、販売しています。

まず、指定ごみ袋の導入の経緯についてご説明いたします。ごみ袋を導入する際の視点として、1点目に、ごみ排出量が増大する中、住民のごみ減量化への意識を高めること。2点目に、指定ごみ袋の代金で処理費の一部を負担していただくための、ごみの排出量に応じた受益者負担の公平化の観点から、平成16年度に指定ごみ袋の導入を決定しております。

ごみ袋の価格の設定は、当時の中部北環境施設組合の構成市町村である旧具志川市、石川市、勝連町、与那城町及び恩納村の2市2町1村で、どのような価格設定がごみ減量化につながるかなどの協議を重ね、検討した結果、現在の価格の設定となっております。当時の議論によりますと、ごみ1キログラム当たりの平均ごみ処理費用が12円となっており、燃やせるごみ袋大に平均10キログラムを詰めることができることから、1つの袋の処理費用は120円と試算され、その試算価格をそのまま販売価格とすると市民の負担が大きくなることから、他の市町村の価格も参考にしながら、ごみ減量化が期待できるとして現在の価格を設定しております。

ちなみに、県内の他の市町村の指定ごみ袋の価格を比較しますと、うるま市と同額となっているのが那覇市、宜野湾市、宮古島市、嘉手納町、読谷村、恩納村、金武町、宜野座村の8市町村で、燃やせるごみ袋大30円、中20円となっております。うるま市より安い設定となっているのが沖縄市、南城市、糸満市、石垣市、北谷町、西原町、北中城村、中城村の8市町村で、大20円、中17円以下。浦添市が大25円、中20円。豊見城市が大21円、中18円。また高く設定されているのが名護市の大54円、中36円となっております。

このように県内市町村と比較しても、うるま市のごみ袋だけが飛び抜けて高いとは言えず、また先ほども説明しましたように、ごみの処理費用からすると現在の販売価格を引き下げることが難しいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。以上でございます。

○6番 玉城 颯力議員

これで一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで玉城 颯力議員の一般質問を終わります。

しばらく休憩します。

——【休憩】——

再開いたします。

次に與古田 彩加議員の質問を許可いたします。與古田 彩加議員。

○7番 與古田 彩加議員

あげな中学校1年の與古田 彩加です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

私は安慶名に住んでいるのですが、近ごろ安慶名はダイレックスやガストなどのお店がたくさんでき、それに伴いきれいな道も多く整備されてきて、少しずつ都会に近づいていっているなど感じました。でも、それと同様に疑問も出てきました。

それは琉球銀行具志川支店の周辺道路整備についてです。一時、この道は拡大されるという話が出ていたのですが、今見た限りではきれいになったのはほんの一部で、残りは前と全く変わっていません。また、横にあった家も壊しているのに、余り工事が進んでいないのは、壊した家に住んでいた人にとって余りうれしいことではないのではないか。もう少し長く家にいられたのではないかと私は考えます。そこで、この道の拡大工事はいつごろから始まる予定なのか。また将来、どうなっていくのかについて疑問に思いました。

終わりに、道を整備するお金も、家を壊すお金も、私たちが納めている税金です。その税金をもっと有意義に使ってほしいのと、やはり私たちが払っている税金ですので、その使い道などを私たちがわかるように詳しく教えていただけるととてもうれしいです。ご答弁をよろしくをお願いします。

○議長（高橋 美結）

與古田 彩加議員の質問に対する答弁を求めます。

○都市計画部長（島袋 房善）

與古田 彩加議員のご質問にお答えします。

現在、本市では安慶名地区におきまして、県道70号線沿いのかねひで付近から安慶名交差点、ガストやすき家、中部農林高校に囲まれた16.2ヘクタールを、安慶名土地区画整理事業として事業を実施しております。

安慶名土地区画整理事業は、先の大戦後に無秩序な市街地が形成され、家屋の密集化や老朽化が進んでいる街を公共施設の配置や住宅地の整備改善を行うことで、中心市街地の形成を図ることを目的に実施しております。

ご質問の琉球銀行具志川支店の周辺道路の整備につきましては、銀行を移転した後に電線地中化の工事を行い、かねひでから安慶名交差点までの県道75号線を整備していくことにしています。

これまで事業地内の建物は事業計画に沿って建物の移転補償を行い、建物の取り壊し後に道路や宅地の整備を進めてきました。まだ取り壊しが行われていない箇所については、次年度以降に建物を取り壊す予定になっています。

次に事業の実施状況についてお答えします。安慶名土地区画整理事業は平成15年から整備がスタートしており、平成27年6月の時点での整備率は、道路の整備が75%、宅地の整地が92%となっています。事業期間は平成28年度までの予定となっておりますが、事業期間を延長する必要があるため、現在、事業計画の変更を準備しています。

次に事業費につきましては、道路や公園などの公共施設整備費が20億8,000万円、建物の移転補償費が122億2,100万円、調査費

や事務費などが29億2,900万円、合計で172億3,000万円になります。その財源の内訳としては、国庫補助金が125億5,850万円、市費が46億7,150万円となっています。

安慶名土地区画整理事業地内は與古田彩加議員がおっしゃるように、県道沿いには区画整理事業で整備された土地に店舗が立ち始め、少しずつ賑わってきています。また、うるみんや地域交流センターなどの公共施設も建設してまいりました。近い将来には、商業地としての賑わいを取り戻し、うるま市の中心市街地として活性化していくものと考えております。

○7番 與古田 彩加議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで與古田 彩加議員の一般質問を終わります。

次に桃原 琉花議員の質問を許可いたします。桃原 琉花議員。

○8番 桃原 琉花議員

彩橋中学校3年の桃原 琉花です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

私たちが住んでいる平安座島、浜比嘉島、伊計島、宮城島の4島の道路には歩道が少なく、大通りにもガードレールがありません。そのため、道路を歩いているときにすぐそばを車が走ったりして、とても不安です。

ことし、平安座島には島で初のコンビニができました。そのため、これからももつ

と観光客がふえるとともに、道路を走る車もふえると思います。しかし、島には信号機が少ないです。私たちは島に住んでいる住民として、特に大通りに信号機があるととても安心して道路を渡ることができます。島に歩道が少ないので道路整備と、大きい道路に信号機の設置をしてほしいです。ご答弁、よろしくをお願いします。

○議長（高橋 美結）

桃原 琉花議員の質問に対する答弁を求めます。

○建設部長（宮城 吉和）

桃原 琉花議員のご質問のうち、道路整備については建設部のほうで担当しておりますので、私のほうから答弁いたします。

建設部土木課では、市道の整備につきましては、その道路の利用状況、交通量、歩行者数、危険箇所の有無などや整備に要する費用に対し、整備後の事業効果などを総合的に判断し、計画的に整備を行っているところでございます。

島しょ地域の道路整備計画につきましては、現在、池味地区の市道与那城116号線を整備中で、今年度完成予定です。また伊計地区におきましては、市道与那城39号線の整備を平成27年度に着手し、平成30年度完成予定です。平安座地区におきましても、彩橋小中学校付近の市道与那城18号線の整備を平成27年度に着手し、平成31年度完成予定で整備中でございます。

なお、市道与那城18号線は、彩橋小中学校の通学路として多くの児童生徒が利用していることから、片側歩道での整備を行っているところです。

次に桃原 琉花議員からありましたように、島しょ地域は観光客がふえるとともに車の数もふえると考えられます。島しょ地域の各地区の交通量がふえると予想されることから、道路整備を急ぐ必要があると考えております。島しょ地域の幹線道路については、沖縄県中部土木事務所において県道伊計平良川線道路整備事業として、既に道路設計を行い、現在、平安座地区と桃原地区を結ぶ橋の改修工事を先に進めているところであります。この県道整備は桃原地区から宮城地区、上原地区、池味地区、そして伊計地区へつなぐ島しょ地域の重要な幹線道路として整備されていきます。新しい幹線道路は道路幅員も広く、歩道も一緒に整備していきます。さらに交通量がふえると、県警察本部交通規制課で調査を行って、歩行者の安全面から信号機設置も必要になると考えております。以上でございます。

○市民部長（上門 はるみ）

桃原 琉花議員のご質問にお答えします。交通安全対策などの担当であります市民部で、信号機の設置についてお答えいたします。初めに信号機の設置までの流れをご説明いたします。自治会より、信号機設置についての要望が市にありましたら、所管のうるま警察署へ伝えます。それを受けたうるま警察署は、設置要望のある箇所について交通量、通行人数等、道路の状況、条件などを調査の上、総合的に判断し、設置の必要があれば沖縄県警察本部へ伝えます。そこで設置の必要性が検討され、沖縄県公安委員会の決裁を経て信号機の設置となります。

桃原議員のご質問は、平安座島の大きな道路の歩道整備に伴う信号機の設置でありますので、先ほども述べましたように、道路の歩道整備完了後に設置を要望する箇所の状況調査等がうるま警察署で行われた後、信号機設置についての判断がなされることとなります。

今後、桃原議員が必要と思われる信号機設置箇所がありましたら、地域の自治会を通し、市に要請していただきたいと思えます。以上でございます。

○8番 桃原 琉花議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで桃原 琉花議員の一般質問を終わります。

次に又吉 敏樹議員の質問を許可いたします。又吉 敏樹議員。

○9番 又吉 敏樹議員

具志川東中学校2年の又吉 敏樹です。これより一般質問を行います。

最近、テレビやラジオのニュースなどで「ふるさと納税」という言葉をよく耳にします。ふるさと納税を行う市町村は次第にふえてきているそうです。ふるさと納税は税を納める側、納められる側の両者が得をするという利点があります。

そこで、うるま市にもふるさと納税はありますか。また、あるとすればお礼の品は何ですか。

昨年、ふるさと納税を納められた方はどのくらいいらっしゃいましたか。ふるさと

納税がなければ、ふるさと納税をつくる予定はありますか。ご答弁、よろしくお願ひします。

○議長（高橋 美結）

又吉 敏樹議員の質問に対する答弁を求めます。

○企画部長（喜納 修）

それでは又吉 敏樹議員のご質問にお答えいたします。

ふるさと納税につきましては、最近テレビなどでよく取り上げられていることから、多くの皆さんが関心を示しているようでございますが、ふるさと納税と言われておりますこの仕組みについては、実際のところは寄附になります。寄附とは赤い羽根募金、歳末助け合い募金などが一般的であります。ふるさと納税は、都会で生活をしている人が生まれ育った出身地や思い入れのある市や町などに対して寄附することで、その地域を応援する制度で、平成20年度からスタートしているところでございます。うるま市でも平成20年度からふるさと納税を受け入れておまして、平成26年度までの7年間に合計36件、総額794万4,580円の寄附がありました。昨年は7人で49万円の寄附があり、うるま市のまちづくりに活用させていただきます。

それとご質問の中に、お礼の品はなんですか？ということについては、うるま市ではお礼の品はありません。お返しはしてございません。なぜかと申し上げますと、この制度の本来の目的は、自分のふるさとや思い入れのある市町村に対する寄附であり、一般的に寄附は見返りを求めないことが常

識で、最近のマスコミが盛んに取り上げているお礼の品は、本来あり得ないこととして理解をしているところでございます。

国のほうでもお礼の品を送ることが、過熱していることを心配し、良識ある対応を市町村に求めている状況にあります。

又吉 敏樹議員には、この制度について興味を持っていただき、制度の仕組みなどについてさらに詳しく調べることで、制度の内容を正しく理解してほしいと思います。以上です。

○9番 又吉 敏樹議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで又吉 敏樹議員の一般質問を終わります。

次に永吉 空未議員の質問を許可いたします。永吉 空未議員。

○10番 永吉 空未議員

伊波中学校の1年、永吉 空未です。これより一般質問を行います。ご答弁をよろしくお願ひします。

私は昔から、毎日、学校生活の中で給食を口にしてきました。ここ最近、ニュースで給食費の未納者が増加し、栄養ある給食をつくれる給食費が納められていないということを知り、給食費がちゃんと払われている生徒も、栄養ある給食が食べられなくなるのではないかと、とても不安です。このままでは給食費が払われていない生徒も、払われている生徒も、給食を食べられなくなってしまいます。そうでなければ

ば、払われていない生徒が払われている生徒の給食費で食べることになります。そうすると、みんなが給食を食べづらくなります。みんなが給食を食べられるようにするには、みんなが給食費を払い、給食費の未納者をなくしていかなければならないと思います。学校で給食費の未納者に対して、市はどのような対処をしているのですか。また、未納者をなくすために、市として何か対策はありますか。詳しく教えてください。

○議長（高橋 美結）

永吉 空未議員の質問に対する答弁を求めます。

○指導部長（嘉手苺 弘美）

永吉 空未議員のご質問にお答えいたします。

皆さんが毎日食べている学校給食は、単に空腹を満たすものではなく、きちんとした目的があって提供されております。その目的や目標は学校給食法に定められており、学校給食が児童生徒の心身の健全な発達に役立つものであること。食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で、重要な役割を果たすものであること。そして、このような学校給食を手本に、学校全体の食育の推進を図ることなどが明記されております。学校給食は、皆さんが学校の給食時間や食育事業で学ぶ生きた教材として、季節に応じた献立や地域の食生活、文化を知るための郷土食の提供、地理や社会科で学ぶ世界各国の料理が給食時間や授業において教室で体験できるよう、献立が考えられております。

うるま市には、現在6つの共同調理場と離島の津堅小中学校に1つの単独調理場があります。児童生徒及び預かり保育園児の皆さんに、毎日約1万4,000食の給食が提供されております。その1食分の給食費は、小学生は220円、中学生は250円です。保護者の皆様に納めていただく給食費は、給食をつくるために必要な食材の購入費に全て使用されます。しかし、給食をつくるためにはそれ以外にもたくさんの費用が必要です。給食センター施設をつくる費用、その維持管理費、設備費、毎日の消耗品費、そして給食をつくってくださる方々の人件費です。これらは全てうるま市が負担しており、市民の皆様から徴収された大切な税金で賄われております。

給食費未納の対策として、市はさまざまな取り組みを行っております。まず納め忘れのある保護者に、学校や給食センターからはがきや電話で納付をお願いしております。また市内数カ所へ横断幕の設置をして、呼びかけを行っております。さらに市の職員が直接自宅を訪問して、納付のお願いをすることもあります。ほかに毎月の献立表には、給食費の納め忘れはありませんかと表示して呼びかけを行い、保護者の皆様に参加するふれあい給食などで説明も行っております。

給食をつくるための大切な給食費ですが、永吉 空未議員のご心配のとおり、残念ながら納めてくれない方もいらっしゃいます。給食費の未納があるからといって、未納児童生徒に給食を提供しないということはありません。未納があっても給食の質や量が落ちることがないように、給食費納入の金額で最大限のいい給食が提供できるよう、栄

養士の先生方は食の安全性を重視し、多くの業者を比較して仕入れること。大量購入することで価格を抑えること。できるだけ安価で栄養価を損なわない食材を使うことなど、さまざまな工夫で食材を調達し、献立をつくっています。

未納対策の一つとして、永吉議員を初め、児童生徒の皆さんにお願いしたいことがあります。それは、児童生徒の皆さんが学校で食べた給食のことを、家に帰って「きょうの給食美味しかったよ。こんなメニューが出ていたよ。家でもつくってほしい。給食はみんなの給食費でつくられているんだよ」とお話をしていただくことです。そうすることによって、学校給食の大切さが伝わり、みんなに感謝の心が芽生え、未納対策にもつながると考えております。またこれだけの工夫、そして多くの税金を使ってつくられている学校給食ですので、つくってくださる方々、給食費をお支払いいただく保護者の方々、そして多くの食材を提供して下さる生産者の方々に感謝して、毎日残さず食べていただくようお願いいたします。

○10番 永吉 空未議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで永吉 空未議員の一般質問を終わります。

次に祖納 青依議員の質問を許可いたします。祖納 青依議員。

○11番 祖納 青依議員

具志川中学校3年の祖納 青依です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

最近、沖縄は歩かない県だとか、食べ過ぎる県だとかいうCMがあったり、男性の平均寿命が全国3位から30位に転落したりと、沖縄の人々の健康が危ぶまれています。そんな中、私は先日テレビで中国や韓国の公園に健康増進のための遊具が設置され、人々が楽しそうにそれを使って運動している様子を見ました。私の家族も小学生の妹にせがまれて、よく近くの公園に行くのですが、うちの親を初め、大抵の大人はベンチに座って子供が遊んでいるのを見ていただけです。そのときにふと思ったのが、この公園にもテレビで見たような大人も使える健康増進のための遊具があればいいのになということ。子供を遊ばせるそのそばで、大人も遊具を使って運動できたら、健康長寿沖縄を取り戻すのにも効果的なのではないでしょうか。

そこでお伺いしたいのですが、うるま市内の公園でそのような遊具が設置されているところはあるのでしょうか。もしないとなれば、これから設置していく予定はあるのでしょうか。ご答弁をよろしくをお願いします。

○議長（高橋 美結）

祖納 青依議員の質問に対する答弁を求めます。

○都市計画部長（島袋 房善）

祖納 青依議員のご質問にお答えします。現在、市内には公園が85カ所ありますが、

そのうち大人も使える健康増進のための遊具を設置されている公園は、平成23年3月に使用を開始した石川伊波地区にある伊波公園と、平成26年8月に使用を開始した宮里地区、中原小学校の近くにありまますうまんちゅ広場です。この2カ所の公園をつくる際には、設計の段階でワークショップを開催するなど、地域の方々との話し合いを行い、健康遊具やウオーキングレーンなどの整備を決定いたしました。うまんちゅ広場については、健康遊具を活用したミニデイサービスなどが行われております。

これから整備する公園については、うるま市の将来あるべき公園の姿を示したうるま市公園整備プログラムにおいて、効率的かつ効果的な公園整備を計画的に進めていくこととし、現在ある85公園、1人当たりの公園面積8.95平方メートルを、将来的には139公園、1人当たり公園面積15.4平方メートルに拡充していくことにしています。

今後の公園整備については、アンケートの実施やワークショップなどを開催し、子供からお年寄りまでさまざまな意見を取り入れた遊具の設置や施設の整備を行い、地域の方々に愛される公園にしていきたいと考えています。

○11番 祖納 青依議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで祖納 青依議員の一般質問を終わります。

次に山城 竣平議員の質問を許可いたします。山城 竣平議員。

○12番 山城 竣平議員

与勝中学校3年の山城 竣平です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。

僕がこの質問を考えついたきっかけとなったのは、僕が小学校6年生ぐらいのころ、震度5弱の地震がありました。そのときは朝の5時ぐらいだったと思います。まだ外は暗くて、みんな寝ている時間でした。そのせいもあって、地震が来たときに僕は怖いと思うだけで、頭を守ることを忘れていました。そしてみんなが起きてきて地震のニュースを見ているときに、僕はお母さんに「お母さん、津波って来ないの？」と聞きました。すると、「テレビでは言ってないから大丈夫じゃない？」と言われました。そして、お父さんは何の心配もすることなく、また寝てしまいました。このように沖縄の人は地震への考えが甘いことに気づかされました。だから、僕はこの質問を考えました。

そして僕が知っている限りでは、友達や親戚の中に防災グッズを持っている人や家具を固定している人はいません。ほかの県では地震のために整備中の津波対策施設の早期完成などの、地震対策緊急整備事業等における総合的な津波対策を推進したり、高齢者などが利用する社会福祉施設などの高台移転や高層化などの津波対策をしているそうです。だから、僕はこのようなほかの県の対策を参考にして、うるま市も何か対策をしてほしいなと思います。以上。

○議長（高橋 美結）

山城 竣平議員の質問に対する答弁を求めます。

○総務部長（天願 雅也）

山城 峻平議員のご質問にお答えいたします。

山城議員がお話された地震について、改めて確認したところ、5年半前の平成22年2月に発生した地震で、沖縄本島地方で震度5弱の揺れが観測されております。この地震によって、うるま市では世界遺産に登録されている勝連城跡の城壁の一部が崩落するなどの被害が発生しました。

さて、沖縄の人は地震への考えが甘いとのこと指摘ですが、沖縄では地震災害に関する記録が不十分であることなどから、沖縄には大きな地震が来ないとの誤った考えを持っている方が多くいるようです。そのようなことから、防災グッズを用意し、家具を固定するなどの地震対策をしている市民が少ないのではないかと、市としても懸念しております。自然災害はいつでもどこで起きるか、予測が難しいものです。あるデータでは、沖縄に大地震が発生する確率は全国平均と同じ程度となっていることから、地震に備えた万全な対策をしておく必要があります。

地震が発生した場合には、まず自分の身を自分で守る「自助」が大切です。落下物から身を守るために机やテーブルの下などに潜り込んだり、余裕がない場合には枕で頭を保護するだけでも有効です。簡単なことですが、地震に備えて家具を固定していくことがかなりの被害を防ぐと言われておりますから、家具の固定は大変重要な対策の一つです。またテレビやラジオ、パソコン、携帯電話などから津波情報を得ることも非常に重要です。海岸付近にいる人は大きな地震や、小さくても長い揺れを感じた場合

には、情報がなくても万が一に備えて近くの高台や高い建物に避難することが重要です。地震など大規模な災害のときには、通常の電話がつながりにくくなりますので、災害時の家族の安否確認ができる伝言ダイヤルサービスの使い方を前もって確認し合うなど、家族で話し合うことも大切なことです。このような取り組みはお金も時間も余りかからない小さな取り組みですが、一人一人が自分の身は自分で守る、自分の家族は自分で守るという自助の取り組みを実践することが大変重要です。うるま市では防災意識を持ってもらうために、うるま市防災減災マップを市内全世帯に配布しています。また、広報誌やホームページで防災情報を発信するなどの取り組みを継続して実施しているところです。

また自助の次に重要なこととして、地域、隣近所同士が助け合う「共助」という考え方があります。災害に備えて、それぞれの地域において、そこで暮らし、働いている方々同士で助け合えるようにチームをつくっておくことが大切です。うるま市ではそのような助け合いのチームとして、自主防災組織を自治会を中心に結成するよう働きかけています。また結成された自主防災組織には、災害時に必要な防災道具を買いそろえるための資金を援助するなど、自主防災組織の育成に努めています。

そのほか市町村などの行政が行う「公助」という考え方があります。うるま市では災害が起こった場合、避難所を開設したり、避難所などに食料や飲料水を届けたりする役目を市の職員が行うこととしています。そのような役割や災害時の行動について、あらかじめ定めておく必要があることから、

うるま市地域防災計画を整備して災害に備えています。また、うるま市だけで対応できない場合には、ほかの市町村に支援をお願いしたり、県の施設を避難所として貸してもらったり、民間の事業所から物品を供給してもらうなどの協力を前もって確認しておく防災協定の締結も進めています。現在、友好都市でもある岩手県盛岡市のほか、お隣の沖縄市、恩納村との災害時の相互応援協定を結んでいます。また、イオン琉球株式会社や株式会社サンエーなどの大型店舗とは駐車場等を一時避難場所として提供してもらうなどの協定も結んでいます。また議員の皆様も参加したことがあると思いますが、毎年11月5日には地震津波に関する住民避難訓練などを実施して、防災意識を高めています。

山城議員ご指摘の津波対策の施設整備としましては、うるま市では災害時の緊急情報を伝達するための防災行政無線を、より性能をよくするために更新整備に向けた取り組みを進めております。また海岸付近の低地帯に住んでいる市民がいち早く高台に避難できるように、防災避難通路の整備を行うほか、避難所での食料や飲料水、毛布などの物資、それらを備蓄するための倉庫の整備も進めています。

防災の視点からすると、市の施設を建てかえる場合には、できるだけ津波の影響がない高台への移設や施設の高層化が望ましいことではありますが、高台への移設には施設を利用する住民から施設が遠くなったり、適当な高台に土地を探せなかったりと大変難しいこともあることから、地域の方々の意見を尊重しながら総合的に検討しているところです。

以上のように、うるま市では施設整備だけでなく、災害対策のための取り組みとしてほかの市町村の取り組みも参考にしながら、さまざまな防災の取り組みも進めているところです。以上です。

○12番 山城 竣平議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

これで山城 竣平議員の一般質問を終わります。

ここで議長を交代いたします。

休憩いたします。

——【休憩】——

○副議長（與古田 彩加）

再開いたします。

私はこども議会の副議長となりました、あげな中学校の與古田 彩加です。

議事の進行方について、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

これより休憩前に引き続き一般質問を行います。

次に古謝 さくら議員の質問を許可いたします。古謝 さくら議員。

○13番 古謝 さくら議員

あげな中学校2年の古謝 さくらです。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしく申し上げます。

勝連城址は2000年に世界遺産に登録され、うるま市でたった一つの世界遺産になりました。

そこで疑問になったのが、どのようにして勝連城址をアピールしているのかということと、年間どれぐらいの観光客が来ているのかということです。私自身、余り行ったことがありませんが、一度行ったときに何人かの外国人の方がいて、その人たちは勝連城址をどのようにして知ったのかが気になりました。市としては勝連城址をどのようにアピールしていて、どれぐらいの観光客が来ているのかを把握しているのですか。そして、今後はどのようにしてアピールしていくのですか。

○副議長（與古田 彩加）

古謝 さくら議員の質問に対する答弁を求めます。

○経済部長（上間 秀二）

古謝 さくら議員の質問にお答えいたします。

まず最初に、先ほど古謝議員から「勝連城址」と質問がありましたが、正式には「勝連城跡」ということですので、覚えててください。よろしくをお願いします。

まず勝連城跡をどのようにアピールしていくかということ、また年間どれぐらいの観光客が来ているのかとの質問ですが、アピールの取り組みとして、平成24年度には飛行機の機内誌や機内におけるビデオでの紹介。空港手荷物受取所における大型ビジョンを活用したPR。平成25年度にはテレビ番組や観光情報誌を活用した広報、イベントの開催によるインターネット、ニュース報道を活用したアピール活動などを行っております。平成26年度にはこれまでの取り組みに加え、県内のレンタカー受

付窓口にパンフレットの配布などを行っております。また、城跡の中では5カ国語による情報提供と、無料で利用できる無線インターネット環境が整備されています。

次に年間を通じて訪れている観光客の把握についてですが、勝連城跡休憩所に職員が常駐をしており、そこで入場者の数を日々確認しています。ここ3年間の入場者数は、平成24年度14万4,988人、平成25年度17万5,211人、平成26年度15万6,052人となっております。最近は外国人観光客もふえてきており、入場者数の約1割が外国人だと想定をしています。ふえた要因として、県内の外国人観光客数の大きな伸びと、これまで行ってきたアピール活動などの取り組みにより、外国人観光客への情報発信ができたことなどがあると考えております。

今後、どのようにアピールしていくかという質問もありました。今後もこれまでの取り組みを再確認し、観光客へのアンケート調査結果なども参考にしながら、世界遺産として登録されたことを最大限に活用して、効果的に勝連城跡やうるま市のアピール活動を行っていきたいと考えております。

○13番 古謝 さくら議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで古謝 さくら議員の一般質問を終わります。

次に宮城 力志議員の質問を許可いたします。宮城 力志議員。

○14番 宮城 力志議員

具志川東中学校2年の宮城 力志です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしく申し上げます。

僕は、市長が普段どのようなお仕事をされているのかと疑問に思い、質問させていただきます。

私は生徒ですので、身近な人の職業としては教師や両親、ご近所の皆さんの仕事についてはある程度理解しているつもりです。けれども、「市長」という仕事については全く知識がありません。漠然と市全体をリードしてまとめたり、議会で何事かを深めていращやるのだらうとは思いますが、本当のところはよくわかりません。このように思っているのは私だけでなく、ほかの方も同じだと思います。

それで、市長が普段どのようなお仕事をされているのか、市長としてどのような役目を果たしているのかを、表に出るもの、出ないものを含めて具体的に教えてください。よろしく申し上げます。

○副議長（與古田 彩加）

宮城 力志議員の質問に対する答弁を求めます。

○企画部長（喜納 修）

それでは宮城 力志議員のご質問にお答えいたします。

市長は、普通任期は4年で、選挙で選ばれることを学校で勉強したと思います。選挙では、「私が市長に当選した場合には、このようなまちづくりをします」と公約、約束を掲げますので、当選後はこの公約を実現するため、市民のために必要なさまざま

な仕事に取り組むこととなります。市長はうるま市民の先頭に立って、市民の生命と財産を守る役割があるほか、国や県に対して必要な予算を確保することやさまざまな行政活動などの役割もごございます。

最近、米軍ヘリの墜落事故がありましたが、このような事故が起こらないよう、米軍や日本政府に強く抗議する役割もあります。また議会に予算やまちづくりに関する議案などを提案し、うるま市の予算、条例などを決定するほか、いろいろな会議に参加して、うるま市のためになるよう、課題や問題を解決する役割もあります。

それから、市を代表して学校や地域のイベントに出席をして挨拶をすることや、市が主催するさまざまな会議やイベントにも出席する必要もあることから、一年中忙しい仕事をこなしております。特に地域のイベントは土曜日や日曜日などの休日に開催されることが多く、市長は土曜日でも日曜日もなく市民のために働いて、完全に休むことができる日は年間でも数える程度だと思います。

市長の普段の仕事は、出勤後、秘書から1日の日程の報告を受けた後に、市役所の各部署から多くの文書に目を通し、内容に問題がない文書には決裁、印鑑を押して了解したことを示して業務を進めることを確認いたします。一方、文書の内容に疑問がある場合などには、担当する職員を呼んで説明を受けて、納得した上で業務を進めることとなります。

その後、いろいろな会議やお客様との面会を行います。多い時は1日に五、六件の会議に参加したり、何人ものお客様と面会することがあるほか、場合によっては夕方

からの会議にも出席することもありますので、ご自宅に帰る時間が遅くなることもあります。また、東京などへ出張して政府、大臣などへの要請活動が年間15回ほどあるほか、うるま市のトップセールスマンとなって本土の企業を誘致する活動や、多くの観光客がうるま市に来てもらうためのPR活動も毎年行っております。

それから各議員皆様のお手元に市長が関係する団体等の役職をまとめた資料、3枚つづりの資料が配付されていると思いますが、市長が関係する全国的な団体として全国市長会などがあり、毎年、総会などの会議に理事として参加しております。また、県内の市町村で構成する沖縄県後期高齢者医療広域連合会の連合長としての役割、中部広域市町村圏事務組合の理事としての役割もあり、高齢者の医療に関することやおきなわマラソンなどについて、関係する市町村と協力しながら事業を進めております。身近なところでは、うるま市交通安全推進協議会の会長やうるま市育英会の会長としての役割があり、市民や児童生徒を交通事故から守る活動や、皆様が高校や大学に進学する際の育英資金の運営にもかかわっております。配付資料では82団体の役職を載せてありますが、そのほかいろいろな団体との交流、かかわりもありまして、会議やイベントなどが開催されるときには、うるま市を代表して参加することになります。

このように市長の仕事は多岐にわたり、忙しい毎日ですが、うるま市民のため、日夜頑張っていることを理解していただきたいと思います。

○市長（島袋 俊夫）

宮城 力志君の、「市長の仕事は主に何をしているのですか？」ということで、市長の仕事に関心を持っていただいて、本当にありがとうございます。

なかなか自分の仕事はこういった内容ですよという、照れて説明もしづらいので、担当部長の喜納部長から細かく説明をさせていただきました。それから部長からお話がありましたが、皆さんのお手元に配付してあります市長の役職の一覧表がありますね。これも私のほうで昨日、これを逆に配ってもらったほうがわかりやすいんじゃないでしょうかということでプリントを配付させてもらったところでございます。

市の業務以外に中部地区、沖縄県、九州、全国と、その加盟している国内のさまざまな団体、それからこのうるま市のまちを支えるさまざまな防災関係、安全関係、交通関係、そういったもろもろの団体とのかかわりもございまして、そういったまた団体の沖縄県、中部、うるま市、市町村においていくような役職もたくさんございます。ここには82の役職が列挙されていますが、3枚目のほうではうるま市のエイサー祭り実行委員長とか、うるま祭りの実行委員長とか、そういった内部の、うるま市内の内部のイベントの長なんかもありますので、そういったものを引いていくと大体役職として絞っていけるのは60ぐらいになるかと思います。

いずれにいたしましても、うるま市を代表して、12万市民を代表しての役職でありますので、日々、一生懸命その役職をこなすように頑張っております。どうしても日程が重なって出席できないときには、副市

長の榮野川さん、そしてまた各担当の部長に代理で出席をお願いすることもございます。そういう中で自分の健康も考えながら、日々職務に専念しているところでございます。

それからうるま市の市民のための業務は、うるま市だけでできるものではありません。大体似通った公務、事務処理等がありましたら、中部地域で広域の事務処理組合がございまして、そこに加盟をしまして、同一の事務処理は共通の事務組合を結成して作業をしたほうが効率的で、人件費も軽く済むということで、事務を省略化して中部地域でまとめてやってもらうということもあります。

それから先ほどごみ袋の話がありました。うるま市のごみ焼却場がどこにあるかわかりますか？ 榮野比地域にありますね。榮野比に中部北環境施設組合というごみ焼却場がございまして、最先端のごみ溶融化システムを取り入れたすばらしい施設がありますので、一度は見てください。このごみ処理場は隣の恩納村、うるま市、1市1村で運営をしております。それから昆布地域に中部衛生処理施設組合というのがあります。見たことありますか？ 昆布棧橋を過ぎたところにありますね。そこでは読谷、嘉手納、それからうるま市の3市町村の構成でし尿処理、下水道が完備されていないところには浄化槽がありますよね。その浄化槽を汲み上げて処理する衛生施設組合があります。そういう広域で処理したほうが効率的に予算も安く、市民のための仕事ができる。お隣近所の市町村と共同の作業をすることによって、市民サービスを安く、市民の負担の少ない事業を展開していくという

ことで努力をしているところでございます。

さまざまなことがありますけれども、うるま市の最大の課題は冒頭でも部長が申し上げましたが、まず失業率が高い、市民所得が低いというのが最大の課題です。そのために平成21年の市長の就任以来、まず雇用の拡大と企業の誘致、そういったものを一生懸命取り組んでいます。中城湾港に埋立地がありますよね。新港地区。大体500社近い企業があります。5,000名近くの従業員が働いています。そこにこの6年間で約57社の企業を誘致することができました。沖縄県と一緒にことしの7月にも大阪、東京まで行って、企業誘致セミナーに参加をして、国内の企業の方々にぜひ沖縄のうるま市の中城湾港の新港地区に工場をつくってくださいと、進出をしてくださいとお願いしてきたところであります。これからも皆様の目に見えないところで、将来の皆さんが担ううるま市のために貢献するような事業をさまざま展開してまいりますので、これからもご指導とご提言、ご理解をお願い申し上げまして、市長の仕事は何をしているかの答えに補足説明をさせていただきました。ありがとうございました。

○14番 宮城 力志議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで宮城 力志議員の一般質問を終わります。

午前の日程をこの程度にとどめ、午後1時から会議を開きます。

しばらく休憩します。

——【昼休憩】——

再開します。

午前引き続き一般質問を行います。

次に伊覇 千聖議員の質問を許可いたします。伊覇 千聖議員。

○15番 伊覇 千聖議員

津堅中学校3年の伊覇 千聖です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

私が住んでいる津堅島は海がとてもきれいで、ニンジンとモズクが有名な島です。「キャロットアイランド」とも呼ばれていて、観光客もたくさん来ます。こんな素敵な島ですが、私には一つ残念に思っていることがあります。それはごみが多いことです。特に気になっている場所は、ごみ捨て場でもないのに家庭からのごみがたくさん捨てられているところです。私はこのごみ捨て場になっているところのごみをなくしたいと思っています。

そんなとき、うるま市の議会だよりを読んでいると、焼却炉の設置について考えていることを知りました。この焼却炉の設置は平成27年度から平成29年度の計画と書いてありましたが、あのごみ捨て場になっているところは環境にも、衛生にも悪いと思います。もっと早目に何か対策をとることはできませんか。

○副議長（與古田 彩加）

伊覇 千聖議員の質問に対する答弁を求めます。

○市民部長（上門 はるみ）

伊覇 千聖議員のご質問にお答えします。

伊覇議員ご指摘のとおり、現在津堅島にはごみの不法投棄などが多く、特に港原地区などで粗大ごみ、産業廃棄物等が多く散在している状況が見受けられ、回収や処分についての問題も生じている現状があります。地理的状況からして、島外からごみ等が持ち込まれることは考えにくく、家庭や地域と一体となり、生活や衛生環境に対する意識の改革を図ることにより、主体的に環境保全活動に取り組んでいくことが必要不可欠と考えており、地元自治会や関係機関等と幾度となく対策について協議をしてきました。

環境保全の一環として、平成25年度から地元住民と環境課及び市職員等のボランティアが協働で不法投棄されたごみの回収を行う、津堅島クリーンアップ大作戦を実施しています。その際、回収されたごみの量は、平成25年度に可燃ごみ320キログラム、不燃ごみ370キログラム、粗大ごみ120キログラムの回収があり、平成26年度にはタイヤ7本、冷蔵庫1台、洗濯機2台、それから可燃ごみ100キログラム、不燃ごみ200キログラムを回収しました。

市では今後も住民主体の清掃活動を推進するとともに、ごみ出しルールの徹底や不法投棄についての啓発活動を引き続き行っていきたいと考えておりますので、伊覇議員も清掃活動や啓発活動にご協力をお願いいたします。

さて、議員ご質問の小型焼却炉の設置についてでございますが、平成29年度の事業の予定となっておりますのは、小型焼却炉の導入、設置までの間に地元自治会や関係

団体と施設の運用の仕方、維持管理の仕方などのほか、それぞれの役割分担などについて十分な調査や研究、協議を行っていくため、どうしても時間が必要になってくるためであります。ですから、早目の小型焼却炉の設置については、大変厳しいものと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

○15番 伊覇 千聖議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで伊覇 千聖議員の一般質問を終わります。

次に島袋 琉議員の質問を許可いたします。島袋 琉議員。

○16番 島袋 琉議員

具志川中学校3年の島袋 琉です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いたします。

ことしもまだまだ厳しい暑さが続いています。日差しが強く照りつけ、雨も多いこの時期、道路脇の雑草も勢いよく茂り、しばしば通行しづらくなったりします。実際、僕が小学生のときに自転車で走っているとき、道路脇の雑草が邪魔で転倒しそうになったり、草が肌にすれてミミズ腫れのような状態になったこともありました。また木がうっそうと茂った場所の近くの街路樹の植え込みの雑草の中からハブが出てきたという話も何度か聞きました。その話を聞いてから、そういう場所を通るときはハブが出てこないか心配で、わざと落ち葉を

踏んで音を立てて歩いたりして、自分なりのハブ対策をしています。雑草が茂っていると、そのほかにも人通りが少なくなり、人通りが少なくなると治安も悪くなりかねません。スムーズに草刈りが行われればそういった心配もなくなるのですが、いつの間にかきれいに草が刈られてきれいになっているところもあれば、長い間草刈りが行われず、草木がうっそうとした状態が続くところもあるように感じられます。

そこでお伺いしたいのですが、街路樹やその周辺の植え込みの管理や整備はどのようになっているのでしょうか。また、自分たちで刈ってもよいのでしょうか。ご答弁、よろしくお願いたします。

○副議長（與古田 彩加）

島袋 琉議員の質問に対する答弁を求めます。

○建設部長（宮城 吉和）

島袋 琉議員のご質問にお答えいたします。

うるま市には国が管理する国道、県が管理する県道、市が管理する市道、その他の農道などがあります。それぞれの道路沿いには街路樹や歩道の植え込みに草花などが植えられております。議員ご指摘のとおり、その植え込みの雑草が伸びて、歩行者が安心・安全に歩行できない状況や、車道と歩道との境がわかりづらく、通行車両の運転にも影響があり、歩行者や運転手には危険な状態であると考えております。

市では道路沿いの街路樹や植え込みの維持管理につきましては、シルバー人材センターの作業員や、市建設部維持管理課の現

業職員が定期的に作業を行っているところ
です。その他清掃作業や美化活動、また地
域の連携を目的とした道路樹木等の管理活
動を行っております。市民による道路樹木
管理会も清掃作業をしておりますが、うる
ま市は地域が広く、道路延長も非常に長い
ことから、なかなか行き届かないのが現状
であります。しかし、地域によってはボラ
ンティアの方々が独自で草花を植えたり、
植え込みの雑草の草刈りなどをして管理を
してくださっている状況も見受けられます。

市では今後も市道、またはその他道路の
維持管理につきましても、地域の方々の協
力を得ながら緊急性、危険箇所、歩行者や
車両通行などの観点から総合的に判断し、
優先順位の高いところから維持管理を進め
ていきたいと考えております。

次にご質問の道路沿いの雑草を自分たち
で刈ってもよいかについては、ボランティ
ア活動中にけがや事故に遭う可能性があり
ますので、監督義務者を置く必要があると
考えております。道路沿いの清掃活動には
十分注意を図る必要がありますので、学校
関係者や地域の方とご相談してから行って
いただけたらと思います。道路、公園など
の草刈り作業対応に苦慮している状況の中
で、島袋 琉議員にはボランティア活動に関
心をくださることに対して、感謝申し上げ
ます。

○16番 島袋 琉議員

これで私の一般質問を終わります。あり
がとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで島袋 琉議員の一般質問を終わり

ます。

次に山城 亜衣璃議員の質問を許可いた
します。山城 亜衣璃議員。

○17番 山城 亜衣璃議員

石川中学校2年の山城 亜衣璃です。これ
より一般質問を行います。ご答弁、よろし
くお願いします。

私の質問は、道路や排水路の整備につい
てです。私の住んでいる石川の宮森小学校
付近では、台風や梅雨時の大雨でたびたび
道路が冠水し、通勤や通学に困っています。
私の友人の住んでいる宮前区では、今年の
台風の大雨による特別警報時に排水路から
水があふれ出し、1メートル近くも冠水し、
恐怖を感じたことがあると聞きました。ま
た曙区の坂道では、大雨の際に側溝から水
が噴水のようにあふれ出し、道路が川のよ
うになっているときがあります。通学する
ときに危険を感じたり、自動車の跳ねる水
がすごくて、通学のときにとっても困ります。
沖縄は台風接近の多い地域です。今後も台
風時に大雨が降ったり、場合によっては特
別警報が出るほどの大雨がまた起こるかも
しれません。

今後の道路整備や排水路の整備の計画に
ついて教えてください。また、今後の石川
地区の整備計画についても教えてください。

○副議長（與古田 彩加）

山城 亜衣璃議員の質問に対する答弁を
求めます。

○建設部長（宮城 吉和）

山城 亜衣璃議員のご質問にお答えいた
します。

まず昨年度の台風8号の豪雨による影響で、天願川や市内の各地域に多大な被害を与えたことは、いまだに記憶として残っているところであります。議員ご質問の宮森小学校付近の宮前区でも道路側溝から排水があふれ、道路が冠水した箇所も確認しております。この箇所は宮前区の市道石川25号線と川沿いの市道石川西線の2支線が交差するところで、周辺地域でも道路が低いところであり、大雨により冠水に至ったと考えられます。また市道石川25号線の道路側溝からの排水は、石川川へ流れておりますが、異常気象による雨の量がふえると石川川への流れが悪くなり、さらには満潮時と大雨が重なったときに石川川から逆流することも考えられます。低地帯では異常気象による大雨と満潮時が重なると、しばしば起こり得る現状であります。

そのような状況から、川の氾濫防止や冠水対策として、沖縄県では石川川の川床にたまった泥などを取るしゅんせつ工事を進めているところです。川床をしゅんせつすることで冠水の状態が軽減されるものと考えております。この箇所の今後の道路整備や排水整備については、工事が完了していることもあり、再整備はかなり厳しいものと考えますが、今後は道路維持管理において、道路排水溝内の土砂堆積除去等を行いながら、冠水対策を考えていきたいと考えております。

次に曙区の坂道の道路排水溝については、石川消防署から国道329号に下る市道と国道とが交差するところであり、旧石川浄水場付近の道路排水溝の格子状の側溝ふたから吹き出し、あふれ出た箇所と思われまます。この箇所は通常の雨ではほとんど吹き出す

ことはありませんが、国道と市道はいずれも急な坂になっていることから、道路側溝傾斜が大きく、台風などの大雨には水量がふえ、大量に勢いよく流れ出すことで両方の排水が激しくぶつかり、格子状のふたから排水が噴き出すと考えられます。

このような状況を防ぐ対策として、国道を管理している北部国道事務所では、道路排水溝が交差する手前で数カ所の格子状のふたを設置して、排水の勢いを軽減して、吹き出し防止対策をしております。

また、その他の吹き出し防止対策として、次の3点などが考えられます。1点目に、格子状のふたを鉄板製などのふたに取りかえる工法。2点目に、排水溝の一部を取りかえ、排水の勢いを緩やかにする工法。3点目に、排水溝の水の流れを分散する構造に変えることで、排水の水量を抑える工法。以上の3点を対策案として、国道を管理している北部国道事務所と協議を行い、対策を講じていきたいと考えております。

○17番 山城 亜衣璃議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで山城 亜衣璃議員の一般質問を終わります。

次に金城 昴議員の質問を許可いたします。金城 昴議員。

○18番 金城 昴議員

あげな中学校3年の金城 昴です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしく申し上げます。

鉄軌道の導入について伺います。現在の計画では、費用等に少々問題があると聞きます。広報誌やニュース等で鉄軌道の導入について触れていた記事を目にしたことがあります。

しかし、現時点で費用等の問題を抱えていると聞いて、仮に導入することになったときに、自分は一つ疑問があります。土地面についてです。費用等についてのニュースはさまざまに取り上げられていましたが、導入する土地のニュースについては、自分は目にしていません。その部分を取り上げていないということは、問題がないということの裏返しなのかもしれません。ですが、自分の個人的な意見であります、導入するとすると、その土地はしっかりと確保されているのか。導入までどれぐらいの時間を費やすのか。もう少し説明してほしいと思います。似たような考えをお持ちの市民も少なからずいらっしゃると思いますので、ぜひご説明のほうよろしくをお願いします。

○副議長（與古田 彩加）

金城 昂議員の質問に対する答弁を求めます。

○企画部長（喜納 修）

それでは金城 昂議員の鉄軌道の導入に関するご質問にお答えいたします。

金城議員は戦前の沖縄県で鉄道が走っていたことをご存じでしょうか。今から100年前になりますが、沖縄県では那覇市を起点に与那原線、糸満線、嘉手納線の3路線の軽便鉄道が走っていましたが、戦争で破壊され、戦後も復旧することなく今日に至っております。なぜ今鉄軌道の導入が検

討されているかと申し上げますと、沖縄県は他府県に比べて鉄道がないため、移動手段を自動車に依存しており、自家用車の活用割合は全国平均が約66%に対し、沖縄県は約86%で、全国平均より20%も高い状況であります。そのため交通渋滞が激しく、特に那覇周辺は東京や大阪、名古屋よりもひどい交通渋滞だと言われております。交通渋滞がひどいとガソリンを無駄に消費する。排気ガスをまき散らし、環境に悪影響があること。時間どおり行き先につかないことなどの問題が発生します。

そのような問題を解決するために、沖縄県では定時かつ定速で運行できる鉄軌道の導入を検討していきまして、現時点における計画では那覇市から名護市までを1時間以内で運行することを想定し、専門家による検討や、県民からさまざまな意見を聞いて、来年の3月までに具体的な計画をまとめるよう作業を行っているところでございます。

金城 昂議員が心配するように、鉄軌道の建設には莫大な費用がかかることも事実でございます。また沖縄県の場合、住宅が密集しているほか、米軍基地があることから、路線や駅を整備する場合の土地の問題を解決する必要があります。そのため、専門家が知恵を絞りながらいろいろと検討を加えておりますが、現在のところ、具体的な土地の確保までに進んでいない状況でございます。検討の中で、一部の区間では地下鉄方式による可能性も考えられておりますが、鉄軌道が完成することでうるま市から那覇市まで安い料金で、約30分以内に行くことができれば、就職や就学の面で選択の範囲がふえてくると思います。

それから鉄軌道は運転できないお年寄り

に優しい交通機関であるほか、自家用車の使用が減って排気ガスが減ることにより、地域環境にも優しい移動手段になると思います。

この計画を進める過程で、沖縄県に対して意見を述べていくことも可能ですが、金城 昂議員にはこれからも鉄軌道の導入に関心を持っていただき、意見等があれば沖縄県のホームページなどから検索し、積極的に提案してほしいと思います。鉄軌道の導入につきましては、さまざまなご意見があり、賛成する方、反対する方もいると思いますが、導入に向けた計画づくりに取り組んできたところであり、現時点で実現できるかはっきり決まっているわけではありません。導入することが正式に決定されても、完成するのは20年後、あるいは30年後になる見込みでありますので、うるま市としても、みんなで知恵を出し合い、議論を交わしながら、実現に向けて努力していきたいと考えております。

○18番 金城 昂議員

再度質問させていただきます。

土地面についてのご答弁から大体は理解できました。しかし、恐らく仮に導入するとなったときに、例えば那覇市とか、宜野湾市とかといった、多分都市部のところでの導入が自分は主になってくるのかなと思うんですよ。もし仮にうるま市ももし導入、土地面の問題を解消できたとして、もし導入するとなったときの予算、多分先ほども言っていたみたいに財政面がちょっと苦しい部分もあると聞くんですけど、もしそういうときになって20年後とか、そういうときに予算とかはきれいに確保できて、こう案

がまとまるというか、しっかりとしたものになっていくのかなというのが一つ疑問になりました。

○企画部長（喜納 修）

難しい再質問がいっぱいありました。答えていきたいと思います。私の情報を仕入れている範囲内でお答えをさせていただきたいと思います。

先ほど答弁申し上げたように、今の計画は那覇から名護市の間ということで、約1時間という計画で議論が今交わされているところがございます。それと質問の最初にありましたいろんな土地の問題等々についても、先ほど申し上げたところではございますが、特に具志川区間と申しましょうか、赤道十字路から安慶名十字路まで来る間については、大分高低差があるということがあって、恐らく地下になるのかなとか、今そういう議論がこれから交わされてくると思います。

それともう一つは財政の問題ということでございますが、まずその議論には至っておりませんで、沖縄県としては国のほうもできるだけ全額を負担していただくということで、今努力しているところがございます。そのようなことで財政面は今後の議論ということになろうかと思えます。

それと合わせて、先ほど高低差ということと、うるま市のエリアの中では2駅という話、2駅ということも今想定されておまして、その2駅を開設するに当たって、それ相応の地元負担という話もこれから詰めていく可能性もあると思っております。もろもろこれからでございますので、20年先、30年先に立派な鉄軌道が整備できるよ

うに、沖縄県とも連携をとりながら、うるま市はうるま市の整備に当たってはいろいろな要望を申し上げて取り組んでいきたいと考えております。以上です。

○18番 金城 昂議員

長々と申しわけありません。満足です。以上で自分の一般質問を終了させていただきます。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで金城 昂議員の一般質問を終わります。

次に高橋 美結議員の質問を許可いたします。高橋 美結議員。

○19番 高橋 美結議員

高江洲中学校3年の高橋 美結です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。

私はことし受験生になり、日々勉強に励んでいます。そんな中、両親に「沖縄は全国で一番学力が低いから、人の何倍も勉強しなさい」と言われています。学力のことはニュースでも取り上げられ、とても深刻な問題だと思います。思い返せば、私たちが小さいころから毎年言われていることであり、一向に改善されている気がしません。

そこで私は今、学校だけの学力向上は限界に近いのではないかと感じました。最近、高江洲小学校付近の広告の一部に、地域の方々に採点の補助等と呼ばかっているを見つけました。私は、これはとてもいい活動ではないかと感じました。

しかし、これだけでは全体の学力向上にはつながりません。なぜなら、勉強をやり

たい人にとってしか影響がないからです。しかし、中学生にもなると強制で勉強をさせるのは難しいことですし、ほかにも人を集めるのは地域ではわずかなもので、それがなじむにもかなりの時間がかかります。沖縄は学習や勉強という言葉にまだ甘さがあります。でも、外国人と話せたり、お互いを助け合う心があったり、琉球という地元を愛する情熱があるのは、沖縄の特色だと思います。その沖縄の特色を生かし、私はいうるま市で大人から中高生、中高生から小さい子供たちへ、市民全員が楽しく勉強できる、教えらえるような場所、時間を設ければ、勉強に興味を湧くのではないかと考えています。つまり、沖縄だからこそワースト1位は抜けられます。そして、まずこの広いうるま市から学力を上げれば、おのずと結果は上がってくるはずです。ぜひ、こうした市全体での長期にわたる取り組みを行ってくれないませんか。ご答弁をよろしく願いいたします。

○副議長（與古田 彩加）

高橋 美結議員の質問に対する答弁を求めます。

○指導部長（嘉手苺 弘美）

高橋 美結議員のご質問にお答えいたします。

高橋議員のご指摘にありますように、学力向上は学習者自身の学習意欲を引き出すことが一番だと考えております。その考えのもと、本市においては学校での取り組み以外に学力向上推進協議会を設置し、学校、家庭、地域が一体となった学力向上に取り組んでおります。この協議会は幼小中学校

の先生方を初め、保護者代表の市PTA連合会、こども育成連絡協議会、市自治会長会、青少年健全育成協議会と多くの方々が参加し、各中学校区に指定したブロックを中心に、学校でできること、家庭でできること、地域でできることなどを考え、幼児、児童生徒の夢実現に向けて活動しております。

学校での取り組みにつきましては、先ほど外間議員のご質問で述べたとおりですが、家庭での取り組みにつきましては、早寝、早起き・朝ご飯、そして運動をスローガンに、規則正しい生活習慣の確立や家庭での勉強時間の確保、家庭読書等の学習習慣の確立にも力を入れて取り組んでいただいております。

地域での取り組みにつきましては、高橋議員の提言の内容にありますような取り組み、地域の小学生や中学生を対象に、高校生や大学生、保護者、地域の方々が学習指導を行う公民館学習会が行われております。また中学校で、土曜日に大学生が中学生に対して学習指導をする塾も開催されております。地域での公民館学習会は毎年少しずつふえてきています。

また、市や市教育委員会、子ども会等が企画した自然体験や交流体験、地域行事への参加など、学びの意欲につながる取り組みも行われております。このように、学校で行われる学力向上への取り組みと合わせて、家庭、地域も一緒になって取り組んでいるところです。

今後も議員のご提言にありますように、沖縄の特色、うるま市の特色である地域のつながりを生かした市民全体の取り組みによる学力向上について、充実させていきたく

いと考えております。

○教育部長（赤嶺 悦三）

それでは高橋 美結議員のご質問にお答えをいたします。

先ほどは指導部長から学校での取り組みについて答えていただきましたが、私のほうからは社会教育での取り組みについてお答えをします。重複するところもあると思いますが、お答えさせていただきます。

教育委員会は児童生徒の学力向上を含めた学校教育の充実は、学校、家庭、地域の連携が重要であると考えております。現在、学校教育の取り組みのほかに、社会教育において地域人材を活用した学校支援地域本部事業や放課後子ども教室を実施しております。学校支援地域本部事業は、学校と地域ボランティア間の連絡調整役となる地域コーディネーターを配置し、学校の要望に応じた支援活動をする事業であります。ボランティアの活動内容は、高橋議員のご質問にあるように、算数の採点補助や読み聞かせ、学習指導補助、家庭科等の実習補助などの学習支援、クラブ活動等の指導者の支援、校内の花壇や教室の修繕、清掃などの環境整備、登下校の安全指導などを行っております。

放課後子ども教室は学校の空き教室などを活用し、学習支援やスポーツ、伝統芸能などの体験活動を通して子供の居場所づくりや地域の教育活動の活性化を図るものがあります。

その事業効果として、読み聞かせをすることにより、子供たちが聞く力が身についた。職業人の講話や職場体験等を通して、自分の進路について真剣に考える生徒がふ

えた。地域の方が学校の教育活動を支援することで、生きがいつくりや地域の教育力の向上にもつながり、学校と地域の連携がうまくできるようになった。などの効果が挙げられております。また、与那城地区公民館や石川地区公民館に学習室を設け、児童生徒や高校生、地域の方々に学習の場として提供しております。

学力向上をみずからの問題として捉えることは、大事なことであります。児童生徒一人一人が学校での事業や地域での取り組みに積極的に参加し、みずから学び考える気持ちで臨めば、確かな学力として定着し、学力も上がってくるのではないかと考えております。引き続き学校、家庭、地域の連携のもと、地域の方々の協力を得ながら、高橋議員ご提言の児童生徒の興味が湧くような学習支援を推進していきたいと考えております。以上であります。

○19番 高橋 美結議員

再度質問をいたします。

このような活動をしていることは、私にとっては初めて知ったことなのですが、正直言って、この広告、要は宣伝等が足りていないんじゃないかと今感じました。広告等、宣伝等は今どうなっているのかお答えいただけますか。

○教育部長（赤嶺 悦三）

再質問にお答えをいたします。

学校支援地域本部事業とか放課後子ども教室につきましては、学校側に教育委員会のほうからお願いをして、回答が得られたら開催をしている状況であります。

○指導部長（嘉手苺 弘美）

高橋議員の再質問にお答えいたします。

うるま市教育委員会では、学力向上実践報告会を毎年2月に行っております。その中でPTA関係者、それから地域の方々をお招きして、学校での取り組み、PTAを中心とした取り組み、そして地域社会での取り組みを報告しております。

○19番 高橋 美結議員

再質問にお答えいただき、ありがとうございます。

あともう一つ質問があるので、よろしいでしょうか。こうやって小学校等でも行っているのは、私も思い返せばあったと思いますが、高校等はどうなっているのか教えていただきたいです。ご答弁、よろしくお願いたします。

○教育部長（赤嶺 悦三）

再質問にお答えをいたします。

現在のところ、子どもが所管する学校は小中学校となっておりますので、現在、高校については子どものほうから積極的な働きかけはしておりません。

○19番 高橋 美結議員

たびたびの質問にお答えいただき、ありがとうございました。これで私の一般質問を終了させていただきたいと思っております。

○副議長（與古田 彩加）

これで高橋 美結議員の一般質問を終わります。

次に大湾 咲希議員の質問を許可いたします。大湾 咲希議員。

○20番 大湾 咲希議員

具志川中学校3年の大湾 咲希です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

最近、日本では少子高齢化が進み、人口が減少してきています。人口が減った場合、経済面、社会面でさまざまな問題が出てくることがわかっています。少子化の原因としては「子供の教育費がかかること」や、「育児による心理的・肉体的負担」などが上げられています。確かに子供を産み育てるということは、中学生の私が考えてもとても大変だということがわかります。

実際に、私には3歳の弟がいますが、母が育児休暇を終え、職場に復帰するために保育園を探したのですが、なかなか見つかることができませんでした。結果的には、母の職場復帰ぎりぎりまで保育園が見つかり、母は職場復帰することができましたが、そのとき私は思いました。もしかしたら、子供を預ける保育園が見つからず、職場に復帰できない人や就職できない人もいるのではないのでしょうか。少子化を防ぐためには、子供を育てやすい環境をつくる必要があります。待機児童対策も含め、うるま市ではどのような少子化対策をしているのですか。ご答弁、よろしくをお願いします。

○副議長（與古田 彩加）

大湾 咲希議員の質問に対する答弁を求めます。

○福祉部長（山城 弘）

大湾 咲希議員のご質問にお答えいたします。

現在の日本では急速に高齢化と少子化が同時に進んでいます。子供が少なくなり、高齢者が増加するということは、世の中の経済を支える現役世代の割合が減少するということでもあります。少子化の要因は、価値観が多様化し、結婚や子供を産み育てることを望まない。非正規雇用やフリーターなどにより、安定した収入が得られない。育児に対する精神的・肉体的負担感が強い。不妊により子供ができない。など、さまざまあります。

大湾議員のご指摘のとおり、少子化は労働力の減少による経済成長率の低下や年金、医療、介護、子育てといった社会保障制度に重大な影響を及ぼすことから、少子化対策については行政、地域、企業など社会全体での取り組みが必要となってまいります。

そこで平成24年8月には、子ども・子育て支援法という法律がつけられ、その法律と関連し、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく子ども・子育て支援新制度が、ことしの4月1日から施行されました。

本市では新制度に伴い、うるま市子ども・子育て事業計画を策定し、子育てしやすい環境づくりのため、さまざまな取り組みを行っております。まず子ども・子育て対策室と保育課では、子育てをする夫婦が安心して働けるよう保育所をふやし、待機児童を減少させ、子育てしやすい環境の整備を行います。また小学生を抱える家庭への対応として、仕事などで昼間家庭にいない保護者にかわり、適切な遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブ、学童クラブの数をふやします。子育てに対する支援は共働き家庭だけでなく、全ての家庭を対象

に支援をするために一時預かり事業や、子育て中の親子が気軽に集まり交流ができる子育て支援センターを提供しています。さらに、援助を受けたい人、援助を行いたい人が会員となり、保育園の送迎や学童保育後の預かり、急な用事や買い物などへ外出するときにお子さんを一時的に預かるファミリーサポートセンター事業を行っています。

児童家庭課では、子育てをするには食費や教育費などいろいろなお金がかかることから、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、児童手当の支給や子供にかかる医療費を無料にしたり、またひとり親家庭には収入の少ない世帯が多いことから、児童扶養手当の支給や、母子や父子にかかる医療費を無料にしています。また障害児を抱えている家庭についても、経済的負担を軽減するため、特別児童扶養手当を支給しています。さらに相談係では、児童虐待や虐待の恐れがある家庭など、養育に課題のある世帯に対し、関係部署と連携して支援を行い、虐待防止や養育支援に努めています。

障がい福祉課では、障害児の子育てに係る親の精神的・肉体的負担が大きいことから、障害のあるご家庭の経済的な面も含めて負担を軽くするため、障害児福祉手当や育成医療費の一部助成、重度障害児医療助成制度で医療費を無料化にしています。また障害のある児童が身近な地域で適切な支援が受けられるよう、児童発達支援や放課後等デイサービスなどを実施しております。放課後支援の取り組みとしましては、障害のある子供を抱えた親同士の交流会を、市内4カ所で開催しており、日ごろから気になっていることや悩んでいることを打ち明

けられる交流の場となっております。また障害のある家族が気軽に相談できる窓口を市内地域に3カ所設置し、必要な情報提供や助言を行い、障害を持つ人が自立した日常生活や社会生活が送れるよう、総合的かつ継続的な支援を行っております。

このように、福祉部ではそれぞれの部署や関係機関と連携し子育て支援を行っておりますが、今後も子供を産み育てやすい環境づくりに向けて、子育て支援の充実を図り、少子化対策につなげてまいります。ご質問、ありがとうございました。

○20番 大湾 咲希議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで大湾 咲希議員の一般質問を終わります。

次に上原 渉議員の質問を許可いたします。上原 渉議員。

○21番 上原 渉議員

具志川東中学校3年の上原 渉です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

うるま市の予算はどこから来ているのでしょうか。僕が通っている具志川東中学校は、去年とことし、同じ時期にクーラーが壊れ、とても暑かったです。何とか大型の扇風機でしのぎましたが、6月後半から7月中旬、湿気がとても多く、ギラギラと照りつける太陽はとても困り、テスト勉強もままなりませんでした。修理もすぐにはできず部品が届くのにたくさんの時間を費や

しました。

ここで生徒全体の意見を聞き、クーラー自体を買いかえるとよいのではないかという意見が上がりました。このまま来年、再来年も壊れる予想がつくのならば、毎年部品を買いかえるよりも一気に新しくしたほうがよい、ということです。先生に訴えると、個々のクーラーなら大丈夫だが、全体のクーラーは莫大な費用がかかるので買いかえることは難しいだろうとのことでした。

そこで私は、うるま市の予算はどこから来ているのか気になりました。また、うるま市の予算で学校の施設や設備に使われている予算はどのくらいなのか、教育に使われている予算は市の予算のどのくらいなのか、お教えてください。

○副議長（與古田 彩加）

上原 渉議員の質問に対する答弁を求めます。

○教育部長（赤嶺 悦三）

上原 渉議員のうるま市の予算はどこから来ているのか、学校の施設設備に使われている予算はどのくらいか、教育に使われている予算は市の予算のどれくらいかについてお答えします。

本市の予算は教育や福祉、また道路や公園整備などの身近なものに使われる一般会計と、国民健康保険事業や介護保険事業、水道事業などの特定の事業を行う特別会計などがあります。その予算は市民の皆さんが納める税金や、国や県からの補助金などを財源として、教育委員会や事業を行う関係部署で必要額を検討し、市長がまとめてうるま市議会へ提案し、市議会の審議を経

て予算が決まります。

平成27年度の一般会計当初予算は528億640万円となっております。そのうち教育に使われる額は96億6,330万円、全体の18.3%となっております。その中で学校施設や設備に使われる予算はおおよそ40億8,000万円で、教育に使われる額の42%が校舎、体育館、水泳プールなどの建築工事や学校警備、空調や電気設備などの保守管理や点検などに使う予算となっております。ご指摘のとおり、具志川東中学校のクーラーが昨年とことし、機器の故障がありましたが、部品交換等で復旧し、その後は順調に稼働しております。現在のところ、機器の故障に対しては部品の交換等で対応が可能であると考えており、新規の空調設備の全体改修計画はありませんが、引き続き安全、安心で豊かな教育環境の維持に努めていきたいと考えております。

○21番 上原 渉議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで上原 渉議員の一般質問を終わります。

しばらく休憩します。

——【休憩】——

再開します。

次に山根 咲笑議員の質問を許可いたします。山根 咲笑議員。

○22番 山根 咲笑議員

与勝第二中学校3年の山根 咲笑です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

市のお金は主に何に使われているのでしょうか。今現在、私が知っている限りでは平敷屋に児童館、きむたかこどもセンターが建ち、与勝中学校の体育館や勝連幼稚園も建ちました。また、平敷屋幼稚園やうるま市本庁舎は建築中です。私の身の回りの公共施設や学校が新しくなる一方、一つの疑問が思い浮かびました。「うるま市の予算での建築の優先順位はどうなっているのだろう」

私が通う与勝第二中学校の体育館はとても古いです。床が盛り上がっている箇所が幾つかあり、今までけが人が出なかったものの、いつけが人が出てもおかしくない状況にあります。このような古くて危険な建物がほかにもあると思いますが、うるま市としてはどういう基準で優先順位をつけているのですか。詳しくお聞かせください。

○副議長（與古田 彩加）

山根 咲笑議員の質問に対する答弁を求めます。

○教育部長（赤嶺 悦三）

山根 咲笑議員のご質問にお答えします。本市の一般会計予算は、教育や福祉、道路や公園整備などさまざまな市民サービスやまちづくりに使われており、現在、うるま市庁舎の建設が進んでいることや、老朽化した学校や幼稚園、体育館及び水泳プールの増改築なども計画的に行っていることは、山根議員ご案内のとおりであります。

その優先順位を決めるに当たっては、市民のご意見や施策の必要性、施設改築に当たっては老朽化に伴う緊急性や安全性を考慮して、予算の確保など財政状況を踏まえながら決めております。具体的には、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準でつくられた震度6強の地震で倒壊する危険性が高い校舎等を優先的に増改築することしております。

ご提言の与勝第二中学校の体育館については、昭和51年3月に完成し、築39年が経過しており、経年劣化で教育活動に支障が出たりしていることから、現在、改築を検討しており、平成28年度に設計、平成29年度工事着手、完成の計画を目標としております。引き続き児童生徒の安全、安心で豊かな教育環境の確保に向けた計画的な学校施設の増改築に努めていきたいと考えております。

○22番 山根 咲笑議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで山根 咲笑議員の一般質問を終わります。

次に伊藤 なぎさ議員の質問を許可いたします。伊藤 なぎさ議員。

○23番 伊藤 なぎさ議員

彩橋中学校3年の伊藤 なぎさです。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくをお願いします。

私たち彩橋中学校は、平安座島、浜比嘉島、宮城島、伊計島の4島が統合してでき

た学校です。私の住む平安座島は、ほかの3つの島に比べれば街灯は比較的が多いほうなのですが、故障でついていかなかったり、薄暗くて夜道を歩くのがとても怖いです。またほかの3つの島は道幅自体も狭く、街灯もあまりありません。私たちが住む4つの島では見知らぬ人からの声かけなどが多く、部活帰りに夜道を歩くのがとても不安です。私たち彩橋小中学校の児童生徒が安心・安全に勉学や部活に励めるよう、地域に街灯をふやす案を検討してはいただけないでしょうか。ご答弁、よろしくお祈いします。

○副議長（與古田 彩加）

伊藤 なぎさ議員の質問に対する答弁を求めます。

○市民部長（上門 はるみ）

伊藤 なぎさ議員のご質問にお答えします。

ご質問の街灯には交通安全を目的に道路管理者が設置する道路照明と、集落内において夜間に通行する場合、暗くて通行に支障がある場合、防犯上不安のある場所など防犯を目的に地域が設置する防犯灯の2種類があります。

伊藤議員のご質問は、在学中の彩橋小中学校の児童生徒の通学路において、部活等帰りの夜道に不安があるということですので、防犯灯の設置を担当しております市民部でお答えいたします。

市においては防犯、犯罪の防止等、夜間の生活環境の整備を図り、市民が安全に生活できるようにすることを目的に、各自治会に防犯灯設置の補助金の交付を行ってお

ります。現在、うるま市には63自治会で5,911基の防犯灯が設置されており、そのうち平安座島から伊計島までの4島においては合計714基の防犯灯が設置されています。平成27年度はうるま市全体で945基、各自治体15基ずつの新たな設置の補助金交付を予定しております。防犯灯は地域の安全を守る大切な役割を担っております。

伊藤議員におかれましても、お住まいの地域で不安に思っている箇所や気づいた点などがありましたら、自治会長やご両親に伝えていただき、ご提案をいただきたいと思ひます。地域にお住いの皆様が安心・安全な生活ができるよう、常に地域を見渡し考えるのは大変よい心がけだと思ひます。私たち市役所職員も地域の皆様と協力しながら、より安心・安全なまちづくりに努めていきたいと思ひております。

○23番 伊藤 なぎさ議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで伊藤 なぎさ議員の一般質問を終わります。

次に名護 峻河議員の質問を許可いたします。名護 峻河議員。

○24番 名護 峻河議員

高江洲中学校3年の名護 峻河です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお祈いします。

私は最近、新聞、テレビ、ラジオなどの媒体で不審者の出現情報や、その不審者による誘拐事件、池や川の土手などから転落

し人が溺れたなどの情報をよく目にしたり、耳にしたりします。私自身も友人とこのことについて時々話をしたりしていました。実際、うるま市内でも不審者の目撃情報や、川へ転落し死亡したなどの事実も少なからずあることでしょう。例えば、天願川周辺は危険で街灯も少ないので、人が転落したりするかもしれませんし、うるま市内にも街灯が少ないと思われる場所が幾つかあります。そんな場所で不審者に襲われたり、誘拐されたりするかもしれません。もしこのような事態がうるま市内で頻発したらと考えると、大変恐ろしく、また遺憾に思います。なので、市民の安全を考慮して、危険な場所においては対策として、ある程度の対策が施されている場所には対策強化として、街灯やガードレールの設置をしたほうがよいと考えております。そうすることで、ほかの地域から用事でいらした方の安全を守ることもつながると思います。

そこで、うるま市の不審者などに関する対策と現状をどのように思っていますでしょうか。また安全対策のさらなる取り組みについて、実現することはできないのでしょうか。これからの市民の安全がさらに守られるよう、期待しております。ご答弁のほうよろしくお願いいたします。

○副議長（與古田 彩加）

名護 峻河議員の質問に対する答弁を求めます。

○市民部長（上門 はるみ）

名護 峻河議員のご質問にお答えします。
最近のテレビで報道される誘拐事件や転落・事故等は、本当に胸が痛みます。場合

によっては、明るいところであれば、またガードレールがあったなら、もしかしたら防げていたのではと考えますと、なおさらでございます。

先ほど伊藤議員に答弁いたしましたように、街灯には2種類あり、名護議員のご質問は暗くて通行に支障がある場合、不安のある場所など、防犯を目的に地域が設置する防犯灯として市民部でお答えいたします。

市においては犯罪の防止等、夜間の生活環境の整備を図り、市民が安全に生活できるようにすることを目的に、各地域に防犯灯設置の補助金の交付を行っております。防犯灯につきましては、各地域の自治会で危険な箇所等を確認していただき、設置場所を決め、防犯灯を設置していただいております。設置場所の決定までには各自治会での調査、地域の皆様との話し合い等があると思いますので、名護議員も現在危険であると思われる場所などを、お住まいの自治会長やご両親に伝えていただくなど、ご提言してみてもはいかがでしょうか。

繰り返しになりますが、地域にお住いの皆様が安心・安全な生活ができるよう、常に地域を見渡し考えるのは、大変よい心がけだと思っております。私たち市役所職員も、地域の皆様と協力しながら、より安心・安全なまちづくりに努めていきたいと考えております。

○建設部長（宮城 吉和）

名護 峻河議員のご質問の転落防止など、安全対策関連については建設部が担当しておりますので、私のほうから答弁いたします。

議員ご質問のとおり、過去に大雨時の天

願川周辺において排水路へ児童が転落して痛ましい水難事故が発生しております。市では市内全域において、市民の安全・安心を最優先に考え、未然に対策を講じるため、転落の恐れのある川や排水溝の危険性の高い箇所の調査を行ってまいりました。その調査結果をもとに、危険性の高い箇所から優先的に転落防止柵としてのガードレールやフェンスの設置をしております。安全対策を行っているところであります。また今後の安全対策においても、地域の川や池など、常に各自治会と連携をとりながら、危険性があると思われる箇所から早急に対策を講じていきたいと考えております。ご提言、ありがとうございます。

○24番 名護 峻河議員

私からの質問は以上になります。ご答弁、ありがとうございます。

○副議長（與古田 彩加）

これで名護 峻河議員の一般質問を終わります。

次に森根 愛夏議員の質問を許可いたします。森根 愛夏議員。

○25番 森根 愛夏議員

与勝中学校3年の森根 愛夏です。これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお祈いします。

私がうるま祭りなどで学校ごとに出し物を出すことを提案した理由は、私がエイサーまつりなどに行くたびに、祭りに出ている人たちは楽しそうだな、私たちもいろんな人たちと踊りなどに参加して、おじいちゃん、おばあちゃんたちを元気にさせた

いなと思って、この質問を提案しました。

私たち中学生が祭りというと、出し物を見ないで屋台に夢中になってしまいます。それはお祭りで楽しい出し物がないからかもしれません。私が知っている与那城小学校まつりでの楽しい出し物は、児童会の子が中心となって、そのほかの参加者も加えて盆踊りをするということです。うるま祭りなどで一つの学校がリーダーとなって、盆踊りなどの出し物を出すことは可能でしょうか。

○副議長（與古田 彩加）

森根 愛夏議員の質問に対する答弁を求めます。

○経済部長（上間 秀二）

森根 愛夏議員のご質問にお答えいたします。

うるま祭りは市民の親睦と融和、一体感をより深め、調和のとれたまちづくりに役立てるとともに、地域への誇りと活力を育てることを目的として、ことしは10月17日、18日の2日間、具志川総合運動公園を中心に開催されます。

まず、現在行っている出し物などへの出演の募集について紹介をさせていただきます。うるま祭り実行委員会では、平成27年8月31日までを期限として、第10回うるま祭りメインステージ出演者募集を行っており、学校、団体、グループなどで応募することが可能です。応募いただいた皆さんには可能な限り出演できるよう調整をしますが、応募者多数の場合は書類選考により出演者を決定する場合がありますので、ご理解をお願いします。

さて、森根議員のご質問の趣旨は、うる

ま祭りのプログラムの中で新たな枠をつくって、希望する学校の皆さんに運営をしてもらうことだと理解をしております。大変よい提案だと思っております。この提案につきましては、うるま祭りの運営、プログラム構成などを担っていただいておりますうるま祭り実行委員会や企画委員会で検討をすることになります。ことしのうるま祭りのプログラムについては既に決定されておりますので、森根議員からのご提案については、来年のうるま祭り企画委員会へ申し送りをしたいと考えております。

またご質問の中に「祭りで楽しい出し物がないからかもしれません」との大変厳しいコメントがあったことを踏まえまして、特に小中学生を対象としたプログラムの充実についても、直接皆さんの意見が反映できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

今後ともうるま祭りを初め、市の催し物に関心を持っていただいて、積極的に参加もしてくださるようお願いをし、答弁とさせていただきます。

○25番 森根 愛夏議員

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

これで森根 愛夏議員の一般質問を終わります。

これでこども議会の市政に対する一般質問は全て終了いたしました。

日程第6 うるま市こども議会宣言決議案を議題といたします。

名護 峻河議員ほか3名から提出されて

います。

発議第1号 うるま市こども議会宣言決議案の提案説明を求めます。名護 峻河議員。

発議第 1 号

うるま市こども議会宣言決議（案）

平成 27 年 8 月 21 日

うるま市こども議会議長 高橋 美結 様

上記の議案を別紙のとおり、うるま市議会会議規則第 14 条に準じて提出します。

提出者	うるま市こども議会議員	名護 峻河
賛成者	うるま市こども議会議員	長濱 光希
	”	外間 弥音
	”	具志川 優梨

提案理由

私たちうるま市こども議会は、市民の一人として、うるま市を愛しお互いの幸せを願い、一人ひとりが希望に満ちた魅力あるまちづくりに心がけ、「一人ひとりが互いを尊重し思いやる心を持ち、いじめのない明るく健やかに過ごすことのできる学校づくりをめざす」ことなどを宣言するため提案する。

うるま市子ども議会宣言決議（案）

私たちは、今日「子ども議会」で、私たちが住む「うるま市」について意見を出し合いました。今日出た、意見や提言は私たちが将来のうるま市のまちづくりについて、自ら考え、行動する機会となりました。

学校や社会において広い視野と洞察力を身につけ、うるま市を担う原動力になっていかなければなりません。

そのために、私たちの住むうるま市の自然や文化、福祉、行政などに一層関心を高め、色々なことを調べ、考え、知識を深めるとともに、自ら表現する力を向上させて、うるま市の良い所を市内外に発信していきます。

私たちうるま市子ども議会は、市民の一人として、うるま市を愛しお互いの幸せを願い、一人ひとりが希望に満ちた魅力あるまちづくりに心がけ、次のことを宣言します。

- 一 一人ひとりが互いを尊重し思いやる心を持ち、明るく健やかに過ごすことのできる学校づくりをめざします。
- 一 自然や環境を大事にし、ルールを守り、子どもからお年寄りまで、安全で安心できるような、住みやすいまちづくりをめざします。
- 一 働く喜びを知り、自分の役割を果たすことのできる活気あるまちづくりをめざします。
- 一 男女がお互いに個性や考え方を尊重し、責任を分かちあい、協力することのできるまちづくりをめざします。
- 一 うるま市の伝統・文化、歴史に誇りを持ち、市内外に発信し、うるま市を訪れる方々をあたたく迎えられ、そして県外の人達にも誇れるようなまちづくりをめざします。

以上決議します

平成 27 年 8 月 21 日

うるま市子ども議会

議員の皆様のご賛同をよろしくお願い致します。

○副議長（與古田 彩加）

ただいま名護 峻河議員から提案説明が行われました。

休憩いたします。

次に宣言決議案の採決に入りますが、採決は起立により行います。議長が議員の起立を求めましたら、議員は起立をお願いいたします。

——【休憩】——

再開いたします。

これより採決に入ります。うるま市こども議会宣言決議案を原案のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

——【全員起立】——

起立全員であります。よって、うるま市こども議会宣言決議は原案のとおり可決されました。

着席してください。

日程第7 こども議会議長のごあいさつをお願いいたします。

○議長（高橋 美結）

今回、うるま市合併10周年という節目にこども議会に参加させていただいたのは、とても誇らしいことだと感じます。きっと、私以外の議員も同じ気持ちのことと思います。それに加え、私は議長というめったにない体験をさせていただきました。ありがとうございました。実は、先生に議会を誘われてから、議長をさせていただいたら…とっていました。

さて、あと少しで貴重な時間にも終わり

が来ます。この議会で日々の疑問に詳しく答えていただいたこと、質問書をつくるまでに知ったこと、一時ながらも議員を体験させていただけたことは、私たちにとってかけがえのないものです。これから私たちはもっとうるま市に貢献していき、未来を担う1人として自覚を持っていくべきだと思います。

以上です。ありがとうございました。

○副議長（與古田 彩加）

ありがとうございました。

ここで議長を交代いたします。

休憩いたします。

——【休憩】——

○議長（高橋 美結）

再開いたします。

日程第8 こども議会副議長のごあいさつをお願いいたします。

○副議長（與古田 彩加）

きょうは副議長として、うるま市こども議会で疑問を解消し、うるま市のいろいろなことを知ることができました。うるま市が今現在行っている政策や、今から行おうとしていることなどを深く理解でき、皆さん、素晴らしい経験ができたと思います。きょう知ったことをたくさんの人たちに伝えていき、うるま市民全員でうるま市をもっとよくしていきましょう。

最後に、市長及び執行部の皆さん、私たちがわかりやすいように答弁していただき、ありがとうございました。

これで副議長の挨拶を終わります。あり

がとうございました。

○議長（高橋 美結）

ありがとうございました。

日程第9 教育長の講評をお願いいたします。

○教育長（栄門 忠光）

うるま市合併10周年の節目の年に、こども議会がこのように開催できましたことを、すばらしいと先ほどから感動しております。また、将来のうるま市を担う皆さんの健やかな成長に触れることができ、大変心強く思っております。こども議員の皆さん、大変お疲れさまでした。よく頑張りました。

講評する前に、今回のうるま市合併10周年記念こども議会開催にご協力いただきました各学校長を初め、担当の先生方、共催いただきました市議会、市当局並びに子供たちの激励で傍聴にお越しいただきました関係者の皆様に、厚く感謝を申し上げます。大変ありがとうございました。

それでは講評いたします。10校を代表して参加した25名のこども議員の皆さん。実際に議場で質問をしてみて、どうだったでしょうか。独特の雰囲気の中で、緊張感もあったことでしょうか。そして自分の調査研究してきたことを十分発言できたことでしょうか。こども議員の皆さんの質問内容が身近な学校のことから、地域の道路等の環境、教育、安全対策、観光やイベントのことなど多岐にわたっており、皆さんの社会問題に対する関心の高さに驚きと感動を覚えました。また、活発で素直な一般質問を受け、市長を初め、各部長の皆さんも真摯に受けとめ、新鮮な気持ちで一生懸命答

弁いたしました。こども議員の皆さんには一般質問を終え、ほっとしたと同時に、皆さんの胸の中には満足感、充実感とさまざまな思いがあると思います。

私は、皆さん一人一人が質問に立つたびに、「大丈夫かな?」、「頑張れ、頑張れ」と心で念じながら見守っておりました。しかし、皆さんの堂々と質問する姿に、頼もしさと未来の可能性を見る思いで、大変感動し、胸が熱くなりました。質問の趣旨も明確で、しっかりと伝わっていたと思います。

こども議会宣言案を提案していただきました名護 峻河議員、長濱 光希議員、外間 弥音議員、具志川 優梨議員、大変すばらしい提案をしていただきました。お互いを尊重し合うことで、いじめのない、明るく健やかに過ごせる学校づくりを目指していくことから、将来のうるま市のまちづくりを目指す姿まで、皆さんの真っ直ぐな心と新鮮な発想を市政に反映させる提案となったと思います。

また初めての議事進行にもかかわらず、臆することなく堂々とスムーズな議事運営をしていただきました高橋 美結議長、與古田 彩加副議長、立派に大役を務めていただきました。大変よく頑張りました。25名の議員一人一人の名前を呼び上げられないのはとても残念ですが、皆さんは学校の代表議員として立派に務められました。本当にご苦労さまでした。

今回、皆さんは議場へはきちんと一礼をして入ってもらいました。議場が独特な雰囲気緊張感を感じたと思います。議会においては市議会議員の皆様、市長を初め執行部の皆さんも常に襟を正し、礼を尽くし、議会の重さを感じながら、市民のために質

問をし、お答えをしております。今回のこども議会を通して、民主的な政治の進め方についての理解が深まり、また議会の重さも肌で感じたのではないのでしょうか。この体験は必ずや皆さんの将来に生かされるものと期待をしております。

結びになりますが、こども議会開催に当たり、子供たちを指導していただきました各中学校の担当の先生方、オリエンテーションやリハーサル、そして本日の議会と議会運営に携わっていただきました議会事務局の職員の皆様、また島袋俊夫市長を初め、各部長の皆様、丁寧にご答弁いただきまして、大変ありがとうございました。うるま市の将来を担う子供たちの健やかな成長をともし見守り、将来の飛躍を大いに期待申し上げ、講評いたします。

本日はまことにありがとうございました。お疲れさまでした。ありがとうございました。

○議長（高橋 美結）

ありがとうございました。

うるま市こども議会の日程を無事に終わることができました。主催をしてくださいました教育委員会、共催をしていただきま

したうるま市議会、並びに市政に対する私たちこども議会議員の一般質問にわかりやすく答弁をいただきました市長を初め、執行部の皆さん。また会議を長時間にわたり傍聴し、激励をいただきました先生方を初め、多くの傍聴者の皆様に、こども議会議員一同よりお礼を申し上げます。

議員一同、起立を願います。

きょうは大変ありがとうございました。

——【拍手】——

そして、きょう、こども議会宣言決議をいたしました。うるま市のすばらしいまちづくりが実現できますよう、私たちこども議会議員一同、頑張りたいと思います。

最後になりますが、ご協力くださいました皆さん、本日は本当にありがとうございました。

これをもちまして、うるま市合併10周年記念こども議会を閉会いたします。

着席してください。

皆さん、お疲れさまでした。

——【閉会】——

平成27年うるま市こども議会の会議の次第を記録し、これを証するため署名する。

平成27年8月21日
うるま市こども議会

議 長 高 橋 美 結

副 議 長 與古田 彩 加

1 番 議 員 島 袋 優

2 番 議 員 與那嶺 真 弓

うるま市こども議会 資 料

- ・ 一般質問通告書
- ・ こども議会に参加して（感想文）
- ・ 写真

一般質問通告書



～うるま市合併10周年記念～

うるま市こども議会

一般質問

期日 平成27年8月21日

共催 うるま市教育委員会

うるま市議会

平成27年度 うるま市こども議会質問内容一覧

議員 番号	質 問 者			質 問 内 容
	中 学 校 名	学 年	名 前	
1	与勝中学校	3	しまぐさ ゆう 島袋 優	沖縄を広めるために、市として取り組んでいることは何か。(他県にアピールしていること)
2	石川中学校	2	よなみね まゆみ 與那嶺 真弓	うるま市は広いし、バスも少ないのでお年寄りや小さい子どもも気楽に乗れる市内循環バスを走らせてほしいです。そういう計画はありますか。
3	与勝第二中学校	2	ながはま みつき 長濱 光希	今、新しいうるま市役所が建設されていますが、古い市役所は何に利用されるのですか。
4	伊波中学校	1	ほかま みおん 外間 弥音	うるま市の教育施設(環境)は整っているのか。
5	津堅中学校	3	くしかわ ゆうり 具志川 優梨	今、行っているうるま市の取り組みBest5を教えてください。また、その取り組みを行ったらうるま市はどうかとお考えですか。
6	高江洲中学校	1	たまき はやて 玉城 颯力	うるま市のゴミ袋がなぜ高いのか。沖縄市(大20円、中17円)・うるま市(大30円、中20円)
7	あげな中学校	1	むた あやか 真古田 彩加	琉球銀行具志川支店の周辺道路整備について、工事はいつから始まる予定ですか。また、将来どうなっていくのですか。
8	彩橋中学校	3	とうぼる りゅうか 桃原 琉花	島内に歩道が少ないので道路整備をしてほしい。また、大きい道路に信号機を設置してほしい。
9	具志川東中学校	2	またし としき 又吉 敏樹	うるま市には、ふるさと納税制度はありますか。
10	伊波中学校	1	ながよし そらみ 永吉 空未	給食費の未納者に対して、市はどのような対処をしているのですか。
11	具志川中学校	3	そな あおい 祖納 青依	うるま市にはたくさんの公園がありますが、その中で大人も使えるような健康増進のための遊具が設置されている公園はありますか。また、これから設置していく予定はありますか。
12	与勝中学校	3	やましる しゅんぺい 山城 竣平	大きな地震はあまりないけど、おこった時はどういう対応をするのか。
13	あげな中学校	2	こや さくら 古謝 さくら	勝連城跡は、2000年に世界遺産に登録されたが、どのくらいの観光客が来ていて、どのように県外や海外にアピールしているのですか。そして、これからはどのようにアピールしていくのですか。

議員 番号	質 問 者			質 問 内 容
	中 学 校 名	学 年	名 前	
14	具志川東中学校	2	みやぎ けし 宮城 力志	市長の仕事は主に何をしていますか。
15	津堅中学校	3	いは ちさと 伊覇 千聖	津堅島のゴミ問題で、小型焼却炉の設置を考えていることを調べました。この設置は、平成27年～29年度で考えているようですが、もっと早く設置することは可能ですか。
16	具志川中学校	3	しまぶくろ りゅう 島袋 琉	道路沿いの植え込みの雑草がのびて、道を渡るときなど危ないと感じるときがあります。ときどき、その雑草を刈っているのを見ますが、自分たちで刈っても良いのですか。
17	石川中学校	2	やましる あいり 山城 亜衣璃	宮森小付近の宮前区や曙区の坂は、大雨が降ると道路が冠水して、通勤・通学に困っています。整備できませんか。
18	あげな中学校	3	きんじょう すばる 金城 昂	鉄軌道の導入についてお伺いします。現在の計画では費用等の問題があると聞きます。個人的には更に土地的に導入するというのは難しいと思いますがどうお考えになられていますか。
19	高江洲中学校	3	たかはし みゆ 高橋 美結	うるま市の子もたちの学力向上のために対策を考えてほしい。
20	具志川中学校	3	おおわん きき 大湾 咲希	うるま市では、少子高齢化に対する対策、特に子育てに対する支援など、具体的にどのようなことを行っているのですか。
21	具志川東中学校	3	うへはら しょう 上原 渉	うるま市の予算などは、どこから来ているのですか。
22	与勝第二中学校	3	やまね さえ 山根 咲笑	うるま市のお金は、どのようなことに使用していますか。
23	彩橋中学校	3	いとう なぎさ 伊藤 なぎさ	地域の登下校の際に街灯が少ないので、増やしてほしい。
24	高江洲中学校	3	なご りよが 名護 峻河	不審者や危険な場所の転落防止などを見据えた街灯・ガードレール柵を設置してほしい。
25	与勝中学校	3	もりね あいか 森根 愛夏	うるま祭りなどで、学校ごとに出し物を出すことは可能ですか。

こども議会一般質問通告書

1 番	島袋 優／しまぶくろ ゆう (与勝中学校 3 年)	(答弁者) 企画部長 (喜納 修)
<p>【一般質問】</p> <p>沖縄を広めるために、市として取り組んでいることは何か。</p> <p style="padding-left: 20px;">(他県にアピールしていること)</p>		
<p>与勝中学校 3 年の島袋 優です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>私は、よくテレビなどで沖縄県の特集をしているのを見かけます。そのたびに、石垣島などが取材地に挙げられているのを見て、私はもっとうるま市のことも取り上げてほしいなと思いました。</p> <p>私は、以前「うるま市・盛岡市中学生交流事業」というものに参加しました。そこでは、県外にうるま市のことを色々と伝えたりすることができ、また県外のこと私達ができるようになったのでとても良い体験をしました。また、他県では大震災での被災地の子ども達のために交流事業を行って色んな人とふれあえるような取り組みをしているそうです。</p> <p>このように、交流事業では自分が知らなかった事を学べたり、逆に私達がどんな暮らしや生活をしていたり、どんな文化や歴史があるかを他県の人達に知ってもらえることができます。でも、私が体験した交流事業では中学 2 年生しか応募・参加することができないという決まりがありました。ですが、私はもっとたくさんの方がこのうるま市を広めるために参加することができればいいなと思いました。ですので、もっとたくさんの方が交流事業などに参加できるようにすることができないでしょうか。</p> <p>また、他にも沖縄・うるま市を広めるために私達が何か取り組めることはないでしょうか。</p>		

こども議会一般質問通告書

2 番	與那嶺 真弓／よなみね まゆみ (石川中学校 2年)	(答弁者) 市民部長 (上門 はるみ)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市は広いし、バスも少ないのでお年寄りや小さい子どもも気楽に乗れる市内循環バスを走らせてほしいです。そういう計画はありますか。</p>		
<p>石川中学校2年の與那嶺 真弓です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>私たちのうるま市は市町村合併によって石川・具志川・与那城・勝連の広い地域にわたる市になりました。人口も12万人あまりになったと聞いています。大規模な店がオープンしたり、市街地の再開発でいろいろと発展している様子はうるま市の市民としてとても嬉しいです。</p> <p>しかし、合併によって地域が広がったことによって不都合も生まれていきます。広い地域でありながら、バスの路線が充実していないということです。私の住む石川の街でもバスの本数が少なく、通学やショッピングに出かける場合は自家用車を使うことが多いようです。</p> <p>そこで、私はうるま市が独自に「市内循環バス」を運行すればもっと便利になるのではないかと思います。移動手段を持たないお年寄りや私たち子どもが気軽に公立図書館・役所・スーパーなどに移動できる手段があると生活がより便利になると思います。</p> <p>うるま市は今後、市内循環バスを運営する予定はないのでしょうか。また、その他交通手段に対しての環境整備等について今後どのような計画があるのか、教えてください。</p>		

こども議会一般質問通告書

3 番	長濱 光希／ながはま みつき (与勝第二中学校 2年)	(答弁者) 総務部長 (天願 雅也)
<p>【一般質問】</p> <p>今、新しいうるま市役所が建設されていますが、古い市役所は何に利用されるのですか。</p>		
<p>与勝第二中学校2年の長濱 光希です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>去年の中頃から、うるま市役所の新庁舎の建設工事が着工されて約1年になろうとしています。</p> <p>各地域にある庁舎が一つに集まり、統合されるのはとても画期的でこれからのうるま市が繁栄していくために必要なことであり妥当だと思います。なので、新庁舎が建設されることは自分もうるま市が活発になると思うと嬉しいです。</p> <p>しかし、新庁舎が建設されると今まで使用されていた旧庁舎は使い道が無くなってしまおうと思います。また、その旧庁舎が取り壊されるとすれば大きな空き地になってしまおうと思います。僕の通っている与勝第二中学校の近くには整備されていない空き地があり、そのせいで青くてきれいな海や緑の木々のすばらしい風景を損ねてしまっています。</p> <p>そこで、できるだけただの空き地にするのではなく、公共の施設を建設したりすると風景を損ねず、有効活用できるので良いと思います。</p> <p>そこで質問ですが、使用されなくなった旧庁舎は今後、何に使用されるのですか？</p> <p>また、取り壊さずにそのまま使用する場合もあるのですか？ご答弁をよろしくお願いいたします。</p>		

こども議会一般質問通告書

4 番	外間 弥音／ほかま みおん (伊波中学校 1年)	(答弁者) 指導部長 (嘉手苺 弘美)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市の教育施設（環境）は整っているのか。</p>		
<p>伊波中学校1年の外間 弥音です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>昨年、小学校6年生と中学3年生を対象に行われた全国学力テストで、前回まで6年連続正答率が最下位だった小学6年生が24位と大幅に躍進し、さらに知識をみる算数Aにおいては、全国6位という素晴らしい結果を収めました。</p> <p>このような結果を収めることができたのはどのような事があったのか、インターネットで調べてみると県では、学力テスト上位の秋田県との交流を行っていることを知りました。他にも『学力向上推進室』というものをつくり、各学校を回って現状や実態を把握し、的確なアドバイスを行っていることなどを知りました。</p> <p>私は、これらの事を知り、うるま市ではどのような対策を取っているのか。また、その為の教育環境が整っているかが知りたいです。詳しく教えて下さい。</p>		

こども議会一般質問通告書

5 番	具志川 優梨／ぐしかわ ゆうり (津堅中学校 3年)	(答弁者) 企画部長 (喜納 修)
<p>【一般質問】</p> <p>今、行っているうるま市の取り組みBest5を教えてください。 また、その取り組みを行ったらうるま市はどのようにとお考えですか。</p> <p>津堅中学校3年の具志川 優梨です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>私は、今回こども議会を引き受けた時は議会に興味がありませんでした。そこで、議会だよりを読み、議会とは何なのか。何をするとところなのか調べ、興味を持つところから始めました。調べたところ、議会とは議員によって国民・住民の意思を代表し、合議する場とわかりました。調べていくうちにどんどん興味がでてきて、うるま市は今どんな取り組みをしているのか疑問に思いました。</p> <p>うるま市は、「人と歴史が奏でる、自然豊かなやすらぎと健康のまち うるま市」というテーマで取り組みを行っていると思いますが、私としてはうるま市が「平和で安全、皆が安心して暮らせるような楽しいまち」でもあってほしいです。</p> <p>そこで、うるま市が行っている取り組みのBest5を教えてください。 また、その取り組みを行ったら、うるま市はどのようにとお考えですか。教えてください。</p>		

こども議会一般質問通告書

6 番	玉城 颯力／たまき はやて (高江洲中学校 1年)	(答弁者) 市民部長 (上門 はるみ)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市のゴミ袋がなぜ高いのか。</p> <p>沖縄市 (大 20 円、中 17 円) ・うるま市 (大 30 円、中 20 円)</p>		
<p>高江洲中学校 1 年の玉城 颯力です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしく申し上げます。</p> <p>私はうるま市のゴミ袋に対して「なぜ他市町村よりも値段が高いのか？」という疑問があります。小学 5 年の頃、祖母と買い物に出かけた時に、祖母の住む沖縄市と私の住むうるま市のゴミ袋の値段が違うことに気付きました。うるま市のゴミ袋は大が 30 円、中が 20 円でした。ちなみに、隣の沖縄市では、大が 20 円、中が 17 円です。うるま市の各家庭で 1 か月に 4 枚ゴミ袋を使用するとして、1 年間に使用するゴミ袋の金額は、大が 1,440 円、中が 960 円です。沖縄市では、大が 960 円、中が 816 円でした。沖縄市と比較すると、差額は大で 480 円、中は 144 円でした。同じゴミ袋なので、この差額に疑問を感じました。</p> <p>このことから、うるま市のゴミ袋も、沖縄市のゴミ袋のようにもっと値下げをしたほうがいいと思います。ご答弁よろしく申し上げます。</p>		

こども議会一般質問通告書

7番	與古田 彩加／よこだ あやか (あげな中学校 1年)	(答弁者) 都市計画部長 (島袋 房善)
<p>【一般質問】</p> <p>琉球銀行具志川支店の周辺道路整備について、工事はいつから始まる予定ですか。また、将来どうなっていくのですか。</p>		
<p>あげな中学校1年の與古田 彩加です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>私は、安慶名に住んでいるのですが、近ごろ安慶名はダイレックスやガストなどのお店がたくさんでき、それに伴いきれいな道も多く整備されてきて、少しずつ都会にちかづいていっているなと感じました。でも、それと同様に疑問も出てきました。それは、琉球銀行具志川支店の周辺道路整備についてです。一時、この道は拡大されるという話が出ていたのですが、今見た限りではきれいになったのはほんの一部分で残りは前と全く変わっていません。また、横にあった家も壊しているのにあまり工事が進んでいないのは、壊した家に住んでいた人にとって、あまりうれしい事では無いのではないかと私は考えます。そこで、この道の拡大工事はいつ頃から始まる予定なのか。また、将来どうなっていくのかについて疑問に思いました。</p> <p>終わりに、道を整備するお金も家を壊すお金も私達が納めている『税金』です。その税金をもっと有意義に使ってほしいのと、やはり私達が払っている税金ですので、その使い道などを私達がわかるようにくわしく教えていただけるととてもうれしいです。</p> <p>ご答弁をよろしくお願いいたします。</p>		

こども議会一般質問通告書

8 番	桃原 琉花／とうばる りゅうか (彩橋中学校 3年)	(答弁者) 市民部長 (上門 はるみ) 建設部長 (宮城 吉和)
<p>【一般質問】</p> <p>島内に歩道が少ないので道路整備をしてほしい。また、大きい道路に信号機を設置してほしい。</p>		
<p>彩橋中学校3年の桃原 琉花です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>私達が住んでいる平安座島・浜比嘉島・宮城島・伊計島の四島の道路には、歩道が少なく大通りにもガードレールがありません。そのため、道路を歩いているときに、すぐ側を車が通ったりしてとても不安です。今年、平安座島には島で初のコンビニが出来ました。そのため、これからもっと観光客が増えるとともに道路を走る車も増えると思います。</p> <p>しかし、島には信号機が少ないです。私達は、島に住んでいる住民として、特に大通りに信号機があるととても安心して道路を渡ることが出来ます。</p> <p>島に歩道が少ないので道路整備と大きい道路に信号機の設置をしてほしいです。ご答弁よろしくお願いします。</p>		

こども議会一般質問通告書

9 番	又吉 敏樹／またよし としき (具志川東中学校 2年)	(答弁者) 企画部長 (喜納 修)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市には、ふるさと納税制度はありますか。</p>		
<p>具志川東中学校2年の又吉 敏樹です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>最近、テレビやラジオのニュースなどで、「ふるさと納税」という言葉を耳にします。「ふるさと納税」を行う市町村は次第に増えてきているそうです。</p> <p>「ふるさと納税」は、税を納める側、納められる側の両者が得をするという利点があります。</p> <p>そこで、うるま市にも「ふるさと納税制度」はありますか。また、あるとすれば、お礼の品は何ですか。</p> <p>昨年、「ふるさと納税」を納められた方はどのくらいいらっしゃいましたか。「ふるさと納税」がなければ、「ふるさと納税」を作る予定はありますか。</p> <p>ご答弁よろしくお願いします。</p>		

こども議会一般質問通告書

10 番	永吉 空未／ながよし そらみ (伊波中学校 1年)	(答弁者) 指導部長 (嘉手苺 弘美)
<p>【一般質問】 給食費の未納者に対して、市はどのような対処をしているのですか。</p>		
<p>伊波中学校1年の永吉 空未です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>私は、昔から毎日学校生活の中で給食を口にしてきました。ここ最近、ニュースで給食費の未納者が増加し、栄養ある給食を作れる給食費が納められていないということを聞き、給食費がちゃんと払われている生徒も栄養ある給食が食べられなくなるのではないかと思うと、とても不安です。</p> <p>このままでは、給食費が払われていない生徒も払われている生徒も給食を食べられなくなってしまいます。そうでなければ、払われていない生徒が払われている生徒の給食費で食べることになります。そうすると、みんなが給食を食べづらくなります。みんながおいしい給食を食べられるようにするには、みんなが給食費を払い、給食費の未納者を無くしていかなければならないと思います。</p> <p>学校で給食費の未納者に対して市ではどのような対処をしているのですか。また、未納者をなくすために市として何か対策はありますか。</p> <p>詳しく教えて下さい。</p>		

こども議会一般質問通告書

11 番	祖納 青依／そな あおい (具志川中学校 3年)	(答弁者) 都市計画部長 (島袋 房善)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市にはたくさんの公園がありますが、その中で大人も使えるような健康増進のための遊具が設置されている公園はありますか。</p> <p>また、これから設置していく予定はありますか。</p>		
<p>具志川中学校3年の祖納 青依です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>最近、沖縄は歩かない県だとか、食べ過ぎる県だとかいうCMがあったり、男性の平均寿命が全国3位から30位に転落したりと、沖縄の人々の健康が危ぶまれています。</p> <p>そんな中、私は先日テレビで、中国や韓国の公園に健康増進のための遊具が設置され、人々が楽しそうにそれを使って運動している様子を見ました。</p> <p>私の家族も、小学生の妹にせがまれて良く近くの公園に行くのですが、うちの親をはじめ、たいていの大人はベンチに座って子どもが遊んでいるのを見ていただけです。その時にふと思ったのが、この公園にもテレビで見たような、大人も使える健康増進の為の遊具があればいいのになということ。子どもを遊ばせるそのそばで、大人も遊具を使って運動できたら健康長寿沖縄を取り戻すのにも、効果的なのではないでしょうか。</p> <p>そこでお伺いしたいのですが、うるま市内の公園で、そのような遊具が設置されている所はあるのでしょうか。</p> <p>もしないとすれば、これから設置して行く予定はあるのでしょうか。ご答弁をよろしくお願いします。</p>		

こども議会一般質問通告書

12 番	山城 竣平／やましろ しゅんぺい (与勝中学校 3年)	(答弁者) 総務部長 (天願 雅也)
<p>【一般質問】</p> <p>大きな地震はあまりないけど、おこった時はどういう対応をするのか。</p>		
<p>与勝中学校3年の山城 竣平です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>僕がこの質問を考えついたきっかけとなったのは、僕が小学校6年生ぐらいの頃、震度5弱の地震がありました。その時は、朝の5時ぐらいだったと思います。その時は、まだ外は暗くてみんな寝ている時間でした。そのせいもあって、地震が来たときに僕は怖いと思うだけで頭を守ることを忘れていました。そして、皆が起きてきて地震のニュースを見ている時に僕はお母さんに、「お母さん、津波ってこないの」と聞きました。すると、「テレビでは言ってないから大丈夫じゃない。」と言われました。そして、お父さんは何の心配をすることなくまた寝てしまいました。このように、沖縄の人は地震への考えが甘いことに気づかされました。だから、僕はこの質問を考えました。</p> <p>そして、僕が知っている限りでは友達や親せきの中に防災グッズを持っている人や家具を固定している人はいません。他の県では地震のために整備中の津波対策施設の早期完成などの地震対策緊急整備事業等における総合的な津波対策を推進したり、高齢者等が利用する社会福祉施設等の高台移転や高層化等の津波対策をしているそうです。なので、僕はこのような他の県の対策を参考にしている市も何か対策をしてほしいなと思います。以上。</p>		

こども議会一般質問通告書

13 番	古謝 さくら／こじゃ さくら (あげな中学校 2年)	(答弁者) 経済部長 (上間 秀二)
<p>【一般質問】</p> <p>勝連城跡は、2000年に世界遺産に登録されたが、どのくらいの観光客が来ていて、どのように県外や海外にアピールしているのですか。</p> <p>そして、これからはどのようにアピールしていくのですか</p>		
<p>あげな中学校2年の古謝 さくらです。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>勝連城跡は、2000年に世界遺産に登録され、うるま市でたった一つの世界遺産になりました。</p> <p>そこで、疑問になったのがどのようにして勝連城跡をアピールしているのかということと年間どれぐらいの観光客がきているのかということです。</p> <p>私自身、あまり行きませんが一度いったときに何人かの外国人の方がいて、この人達は勝連城跡をどのようにして知ったのかが気になりました。</p> <p>市としては、勝連城跡をどのようにアピールしていて、どれぐらい観光客が来ているか把握しているのですか。そして、今後どのようにしてアピールしていくのですか。</p>		

こども議会一般質問通告書

14 番	宮城 力志／みやぎ りきし (具志川東中学校 2年)	(答弁者) 企画部長 (喜納 修)
<p>【一般質問】</p> <p>市長の仕事は主に何をしていますか。</p>		
<p>具志川東中学校2年の宮城 力志です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>僕は、市長が普段どのようなお仕事をされているかと疑問に思い、質問させていただきます。</p> <p>私は生徒ですので、身近な人の職業として、教師や両親、ご近所の皆さんの仕事については、ある程度理解しているつもりでおります。けれども、「市長」という仕事については全く知識がありません。漠然と、市全体をリードしてまとめたり、議会で何事かを深めていらっしゃるのだろうとは思いますが、本当のところはよく分かりません。</p> <p>このように思っているのは、私だけでなく、他の方も同じだと思います。それで、市長が普段、どのようなお仕事をされているのか、市長として、どのような役目を果たしているのかを、表に出るもの、出ないものを含めて、具体的に教えて下さい。よろしくお願いします。</p>		

こども議会一般質問通告書

15 番	伊覇 千聖／いは ちさと (津堅中学校 3年)	(答弁者) 市民部長 (上門 はるみ)
<p>【一般質問】</p> <p>津堅島のゴミ問題で、小型焼却炉の設置を考えていることを調べました。この設置は、平成 27 年～29 年度で考えているようですが、もっと早く設置することは可能ですか。</p>		
<p>津堅中学校 3 年の伊覇 千聖です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>私が住んでいる津堅島は、海がとても綺麗で人参ともずくが有名な島です。「キャロット アイランド」とも呼ばれていて、観光客も沢山来ます。</p> <p>こんなすてきな島ですが、私には一つ残念に思っている事があります。それは、ゴミが多い事です。特に気になっている場所は、ゴミ捨て場でもないのに家庭からのゴミが沢山捨てられている所です。</p> <p>私は、このゴミ捨て場になっている所のゴミを無くしたいと思っています。そんな時、うるま市の議会だよりを読んでいると、焼却炉の設置について考えている事を知りました。</p> <p>この焼却炉の設置は、平成 27 年度から平成 29 年度の計画と書いてありましたが、あのゴミ捨て場になっている所は、環境にも衛生にも悪いと思います。もっと早めに対策をとる事は出来ませんか。</p>		

こども議会一般質問通告書

16 番	島袋 琉／しまぶくろ りゅう (具志川中学校 3年)	(答弁者) 建設部長 (宮城 吉和)
<p>【一般質問】</p> <p>道路沿いの植え込みの雑草がのびて、道を渡るときなど危ないと感じるときがあります。ときどき、その雑草を刈っているのを見ますが、自分たちで刈っても良いのですか。</p>		
<p>具志川中学校3年の島袋 琉です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>今年も、まだまだ厳しい暑さが続いています。日差しが強く照りつけ、雨も多いこの時期、道路わきの雑草も、勢いよく茂り、しばしば、通行しづらくなったりします。</p> <p>実際、僕が小学生の時に自転車で走っている時、道路わきの雑草が邪魔で転倒しそうになったり、草が肌に擦れてミミズ腫れのような状態になったこともありました。</p> <p>また、木がうっそうと茂った場所近くの街路樹の植え込みの雑草の中から、ハブが出てきた、という話も何度か聞きました。その話を聞いてから、そういう場所を通るときは、ハブが出てこないか心配で、わざと落ち葉を踏んで音を立てて歩いたりして、自分なりのハブ対策をしています。</p> <p>雑草が茂っていると、その他にも人通りが少なくなり、人通りが少なくなると、治安も悪くなりかねません。</p> <p>スムーズに草刈りが行われれば、そういった心配もなくなるのですが、いつの間にかきれいに草が刈られてきれいになってるところもあれば、長い間草刈りが行われず、草木がうっそうとした状態が続くところもあるように感じられます。</p> <p>そこでお伺いしたいのですが、街路樹やその周辺の植え込みの管理や整備はどのようになっているのでしょうか。ご答弁よろしくお願いします。</p>		

こども議会一般質問通告書

17 番	山城 亜衣璃／やましろ あいり (石川中学校 2年)	(答弁者) 建設部長 (宮城 吉和)
<p>【一般質問】</p> <p>宮森小付近の宮前区や曙区の坂は、大雨が降ると道路が冠水して、通勤・通学に困っています。整備できませんか。</p>		
<p>石川中学校2年の山城 亜衣璃です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>私の質問は、道路や排水路の整備についてです。私の住んでいる、石川の宮森小学校付近では、台風や梅雨時の大雨でたびたび道路が冠水し、通勤や通学に困っています。私の友人の住んでいる宮前区では昨年の台風の大雨による特別警報時に排水路から水があふれだし、1メートル近くも冠水し、恐怖を感じたことがあると聞きました。また、曙区の坂道では大雨の際に側溝から水が噴水のようにあふれ出し、道路が川のようにになっている時があります。通学するときに危険を感じたり、自動車のはねる水がすごくて通学の時にとても困ります。沖縄は台風接近の多い地域です。今後も台風時に大雨が降ったり、場合によっては特別警報がでるほどの大雨がまた起こるかもしれません。</p> <p>今後の道路整備や排水路の整備の計画について教えてください。</p> <p>また、今後の石川地区の整備計画についても教えてください。</p>		

こども議会一般質問通告書

18 番	金城 昂／きんじょう すばる (あげな中学校 3年)	(答弁者) 企画部長 (喜納 修)
<p>【一般質問】</p> <p>鉄軌道の導入についてお伺いします。現在の計画では費用等の問題があると聞きます。個人的には更に土地的に導入するというのは難しいと思いますがどうお考えになられていますか。</p>		
<p>あげな中学校3年の金城 昂です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願ひします。</p> <p>鉄軌道の導入についてお伺いします。現在の計画では費用等に少々問題があると聞きますがどうお考えになられていますか。</p> <p>広報誌やニュース等で鉄軌道の導入について触れていた記事を目にしたことがあります。</p> <p>しかし、現時点では費用等で問題をかかえていると聞いています。ですが、仮に導入することになった時に自分には一つ疑問があります。土地面についてです。費用等はさまざまなニュースで取り上げられていましたが、導入する場所の土地に関するニュースは目にしていません。</p> <p>その部分を取り上げていないということは問題が無いということの裏返しなのかもしれません。ですが、自分の個人的な意見ではありますが、導入するとなると、その土地はしっかりと確保されているか、導入までどれくらいの時間を費やすのか、もう少し説明して欲しいと思います。似たような考えをお持ちの市民も少なからずいらっしゃると思いますので、是非ご説明の方、よろしくお願ひします。</p>		

こども議会一般質問通告書

19 番	高橋 美結／たかはし みゆ (高江洲中学校 3年)	(答弁者) 指導部長 (嘉手苺 弘美) 教育部長 (赤嶺 悦三)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市の子どもたちの学力向上のために対策を考えてほしい。</p>		
<p>高江洲中学校3年の高橋 美結です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>私は、今年受験生になり、日々勉強に励んでいます。そんな中、両親に「沖縄は全国で一番学力が低いから、人の何倍も勉強しなさい。」と言われていました。</p> <p>学力のことは、ニュースでも取り上げられ、とても深刻な問題だと思います。思い返せば、私達が小さい頃から毎年言われていることであり、一向に改善されている気がしません。</p> <p>そこで、私は今、学校だけでの学力向上は限界に近いのではないかと感じました。</p> <p>最近、高江州小学校付近の広告の一部に地域の方々に採点の補助等と呼びかけているのを見つけました。私は、これはとても良い活動ではないかと感じました。しかし、これだけでは、全体の学力向上に繋がりません。なぜなら、勉強をやりたい人にとってしか影響がないからです。しかし、中学生にもなると強制で勉強させるのは難しいことですし、他にも人を集めるのは地域ではわずかなもので、それがなじむにもかなりの時間がかかります。</p> <p>沖縄は、学習や勉強という言葉にまだ甘さがあります。でも、外国人と話せたり、お互いを助けあう心があったり、琉球という地元を愛する情熱があるのは、沖縄の特色だと思います。</p> <p>その沖縄の特色を活かし、私は、うるま市で大人から中高生、中高生から小さい子ども達へ市民全員が楽しく勉強できる、教えられるような場所、時間を設ければ、勉強に興味を湧くのではないかと考えています。</p> <p>つまり、沖縄だからこそ、ワースト1位はぬけられます。そして、まずこの広いうるま市から学力を上げれば、おのずと結果は上がってくるはずです。ぜひ、こうした市全体での長期にわたる取組みを行ってくれませんか。</p> <p>ご答弁をよろしくお願いいたします。</p>		

こども議会一般質問通告書

20 番	大湾 咲希／おおわん さき (具志川中学校 3年)	(答弁者) 福祉部長 (山城 弘)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市では、少子高齢化に対する対策、特に子育てに対する支援など、具体的にどのようなことを行っているのですか。</p>		
<p>具志川中学校3年の大湾 咲希です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>最近、日本では少子高齢化が進み、人口が減少してきています。</p> <p>人口が減った場合、経済面、社会面でさまざまな問題が出てくるのが分かっています。少子化の原因としては、「子どもの教育費がかかる事」や「育児による心理的・肉体的負担」などが挙げられています。</p> <p>確かに、子供を産み育てると言うことは、中学生の私が考えてもとても大変だと言うことはわかります。</p> <p>実際に、私には3歳の弟がいますが、母が育児休暇を終え、職場に復帰するために保育園を探したのですが、なかなか見つけることができませんでした。結果的には、母の職場復帰ぎりぎりまで保育園が見つかり、母は職場復帰をすることができましたが、その時私は思いました。</p> <p>もしかしたら、子どもを預ける保育園が見つからず、職場に復帰できない人や就職できない人もいるのではないのでしょうか。</p> <p>少子化を防ぐためには、子どもを育てやすい環境を作ることが必要不可欠だと思いますが、待機児童対策も含め、うるま市ではどのような少子化対策をしているのですか。ご答弁よろしくお願いします。</p>		

こども議会一般質問通告書

21 番	上原 渉／うえはら わたる (具志川東中学校 3年)	(答弁者) 教育部長 (赤嶺 悦三)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市の予算などは、どこから来ているのですか。</p>		
<p>具志川東中学校3年の上原 渉です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>うるま市の予算は、どこから来ているのでしょうか。僕が通っている具志川東中学校は去年と今年、同じ時期にクーラーが壊れ、とても暑かったです。何とか、大型の扇風機でしのげましたが、6月後半から7月中旬、湿気がとても多く、ギラギラと照りつける太陽は、とても困り、テスト勉強もままなりませんでした。修理も、すぐには出来ず部品が届くのにたくさんの時間を費やしました。</p> <p>ここで、生徒全体の意見を聞き、クーラー自体を買い換えると良いのではないか、という意見が挙がりました。このまま、来年、再来年も壊れる予想がつくのなら、毎年部品を買い換えるよりも一気に新しくした方がよい。ということです。</p> <p>先生に訴えると、個々のクーラーなら大丈夫だが、全体のクーラーは、莫大な費用がかかるので買い換えることは難しいだろう。とのことでした。</p> <p>そこで私は、うるま市の予算は、どこから来ているのか気になりました。</p> <p>また、うるま市の予算で、学校の施設や設備に使われている予算はどの位なのか、教育に使われている予算は市の予算のどの位なのか、お教えてください。</p>		

こども議会一般質問通告書

22 番	山根 咲笑／やまね さえ (与勝第二中学校 3年)	(答弁者) 教育部長 (赤嶺 悦三)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま市のお金は、どのようなことに使用していますか。</p>		
<p>与勝第二中学校3年の山根 咲笑です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>市のお金は、主に何に使われているのでしょうか。今現在、私が知っている限りでは、平敷屋に児童館「きむたかこどもセンター」が建ち、与勝中学校の体育館や勝連幼稚園も建ちました。また、平敷屋幼稚園やうるま市本庁舎は建築中です。私の身の回りの公共施設や学校が新しくなる一方、一つの疑問が思い浮かびました。「うるま市の予算での建築の優先順位はどうなっているのだろうか。」</p> <p>私が通う与勝第二中学校の体育館は、とても古いです。床がもり上がっている箇所がいくつかあり、今までけが人が出なかったものの、いつけが人が出てもおかしくない状況にあります。このような古くて危険な建物が他にもあると思いますが、うるま市としてはどういう基準で優先順位をつけているのですか。詳しくお聞かせ下さい。</p>		

こども議会一般質問通告書

23 番	伊藤 なぎさ／いとう なぎさ (彩橋中学校 3年)	(答弁者) 市民部長 (上門 はるみ)
<p>【一般質問】</p> <p>地域の登下校の際に街灯が少ないので、増やしてほしい。</p>		
<p>彩橋中学校3年の伊藤 なぎさです。これより一般質問を行います。</p> <p>ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>私たち彩橋中学校は、平安座島・浜比嘉島・宮城島・伊計島の四島が統合してできた学校です。</p> <p>私の住む平安座島は、他の三つの島に比べれば街灯は比較的に多い方なのですが、故障で点いていなかったり、薄暗くて夜道を歩くのがとても怖いのです。</p> <p>また、他の三つの島は、道幅じたいも狭く、街灯もあまりありません。</p> <p>私たちが住む、四つの島では、見知らぬ人からの声掛けなどが多く、部活帰りの夜道を歩くのがとても不安です。</p> <p>私たち、彩橋小中学校の児童生徒が安心安全に勉学や部活に励めるよう、地域に街灯を増やす案を検討していただけないでしょうか。</p> <p>ご答弁よろしくお願いいたします。</p>		

こども議会一般質問通告書

24 番	名護 峻河／なご りょうが (高江洲中学校 3年)	(答弁者) 市民部長 (上門 はるみ) 建設部長 (宮城 吉和)
<p>【一般質問】</p> <p>不審者や危険な場所の転落防止などを見据えた街灯・ガードレール柵を設置してほしい。</p>		
<p>高江洲中学校3年の名護 峻河です。</p> <p>これより一般質問を行います。ご答弁、よろしくお願いいたします。</p> <p>私は最近、新聞・テレビ・ラジオ等の媒体で不審者の出現情報やその不審者による誘拐事件や池や川の土手などから転落し、人が溺れた等の情報をよく目にしたり耳にしたりします。私自身も友人とその事について時々話をしたりしていました。</p> <p>実際、うるま市内でも不審者の目撃情報や川から転落し死亡した等の事実も少なからずある事でしょう。例えば天願川周辺は危険で街灯も少ないので人が転落したりするかもしれませんし、うるま市内にも街灯が少ないと思われる場所がいくつかあります。そんな場所で不審者に襲われたり誘拐されたりするかもしれません。</p> <p>もし、このような事態がうるま市で頻発したらと考えると大変恐ろしく、また遺憾に思います。なので、市民の安全を考慮して危険な場所においては対策として、ある程度の対策が施されている場所には対策強化として、街灯やガードレールの設置をしたほうが良いと考えております。そうすることで他の地域から用事でいらした方の安全を守ることにもつながると思います。</p> <p>また、うるま市の不審者等に関する対策と現状をどの様に思っていますでしょうか。</p> <p>また、安全対策の更なる取り組みについて、実現することは出来ないのでしょうか。</p> <p>これからの市民の安全が更に守られるよう、期待しております。</p> <p>ご答弁の方、よろしくお願いいたします。</p>		

こども議会一般質問通告書

25 番	森根 愛夏／もりね あいか (与勝中学校 3年)	(答弁者) 経済部長 (上間 秀二)
<p>【一般質問】</p> <p>うるま祭りなどで、学校ごとに出し物を出すことは可能ですか。</p>		
<p>与勝中学校3年の森根 愛夏です。これより一般質問を行います。</p> <p>ご答弁、よろしくお願いします。</p> <p>私が、うるま祭りなどで学校ごとに出し物を出す事を提案した理由は、私がエイサー祭りなどに行くたびに祭りに出ている人は楽しそうだな、私達も色々な人達と踊りなどに参加して、おじいちゃん・おばあちゃん達を元気にさせたいなと思ってこの質問を提案しました。</p> <p>私達中学生が祭りというと、出し物を見ないで屋台に夢中になってしまいます。それは、祭りで楽しい出し物がないからかもしれません。私が知っている与那城小学校祭りでの楽しい出し物は、児童会の子が中心になってその他の参加者も交えて盆踊りをすることです。うるま祭りなどで一つの学校がリーダーとなって盆踊りなどの出し物を出すことは可能でしょうか。</p>		

こども議会に参加して（感想文）

1 番 ^{しま} 島 ^{ふくろ} 袋 ^{ゆう} 優 議員

私は、最初は「うるま市こども議会」というものの事をよく知りませんでした。でも、3年に1度しか行われないう事と自分達が1日限定の議員になれるということに興味を持ち、この「こども議会」に参加しました。

初めて議会場に入った時は、想像していたよりも広くて驚きました。私は、1番初めの質問者だったので特に緊張しました。自分が疑問に思っていたことが聞け、それにこれからうるま市をアピールするために私達にできることなどを知ることが出来て、本当によい経験をしました。

最初はとても緊張していたけど、休憩の時間や昼食の時間に市長や関係者の方が話しかけてくれたりしたので、だんだん緊張もなくなって行って、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

私は、今回「こども議会」に参加して、色んな人達が思っている事、自分に出来る事などを聞いて、これから私達がうるま市をもっと広め、より良く暮らしていけるようにするにはどうすれば良いのかを学びました。

また、私はもっと自分でうるま市のことを知ることから始めていこうと思いました。たとえば、私にとって身近な勝連城跡の歴史などについて、自分なりに勉強してこれか色んな事をもっと学んでいこうと思いました。私に出来る事を小さな事でもたくさんやっけていこうと思いました。

2 番 ^{よなみね} 興那嶺 ^ま 真 ^{ゆみ} 弓 議員

7月のオリエンテーション、そして一般質問の作成などを経て、「うるま市こども議会」に参加しました。

最初は「大きい声で質問するだけでしょ」と、ものすごく余裕で市役所に行きました。しかし、いざ議場に入ると「えー。ここで!?!」とさっきまでの余裕は吹きとんでしまいました。

そしてガチガチに緊張したまま、議会はスタートしました。私は2番目なので「最初を乗り切れば大丈夫」と何度も自分に言い聞かせていました。私は一般質問を終え、答弁を聞きました。そして、納得しました。思った通り、自分の番が終わるととっても気が楽でした。

他の議員の質問には、「市長はどのような仕事をしているか」や「勝連城跡に観光客はどれくらい訪れているのか」など、どれも私たちうるま市についての興味深い質問ばかりでした。

午前の部が終わると、市長さんや教育長さんを交えての昼食会がありました。私のとなりは与勝中学校代表でした。以前の顔合わせで顔見知りになっていたのので昼食を食べるときもリラックスして色々な話ができて良かったです。

午後の部の質問では、「鉄軌道の導入はありますか」という質問が一番興味深かったです。答弁では、もし実現しても20年～30年後とのことでした。大分先の話ですが、それを聞いて将来が楽しみになりました。

私は、この議会に参加してうるま市内の中学生の様々な意見や考えが聞けて良かったと思います。また、多くの人前で質問することができ、良い経験になりました。私は2学期の学級の会長となりました。こども議会の経験を生かして、学級内の話し合いや、行事などでリーダーシップを発揮していきたいと思います。

3 番 ^{なが} ^{はま} ^{みつ} ^き 長 濱 光 希 議員

僕は、うるま市こども議員として、「うるま市こども議会」に参加しました。

本会議の前に、リハーサルがあって、その時から緊張していました。そして、リハーサルが終わってすぐ、本議会に入りました。

僕は、3番目に質問しました。新庁舎についての質問をして、検討していることや、何を作るかを聞かせてくださいました。今まで分からなかったことや新たに分かったことなど、色々なことを聞いて、早く知りたかった情報が分かり、良かったです。

その後、昼食休憩に入りました。その時に、なんと、島袋俊夫市長のそばで、昼食を食べました。これまで以上に緊張しましたが、市長としかできない話もできて、良い経験をしました。

三年に一度のこども議会、このような機会に参加して、うるま市についての意見や疑問を関係者に直接質問できました。二度と体験できないことをさせてもらいました。このことを、学校生活でも活かしていきたいです。ありがとうございました。

4 番 ^{ほか} ^ま ^み ^{おん} 外 間 弥 音 議員

去る、8月21日に行われた、「うるま市こども議会」は私にとってめったにできない貴重な体験となりました。

市議会独特の雰囲気の中、ドキドキしながら自分の発表の番を待っていました。そして、とうとう自分の発表の番になりました。発言する時は、とても緊張して声がふるえました。私の質問には、指導部長が答えてくれました。ゆっくり話してくれて、とても分かりやすかったです。その時、初めて緊張がとけました。他のこども議員の発表を聞いていると、やはり凄い内容で同じ中学生とは思えませんでした。

私が印象に残っているのは、議会場に入退室する時に一礼をすることです。一礼する行為からみても、いかに議会場が凄い場所なのかが伝わってきて、更に緊張したことを覚えています。次に印象に残っているのはお昼の休憩時間です。議会場とはまた違った席順でした。私のとなりには、うるま市長が座られていたので、とても緊張しました。市長はとても面白い方でした。その為、意外と話をしながら食べることが出来ました。しかし、市長も忙しい方なので、食事中も席を外すこともありました。それを見て私は、

やはり市長はお忙しいのだなぁと思いました。

私は、こども議会という貴重な体験を活かして、これからも積極的に発言していけるようにしたいです。

5番 具志川 優 梨 議員

私は、今回「うるま市こども議会」に参加してみて、初めてやることに緊張したけど、議員として質問できたことがとても嬉しかったし、いい思い出になりました。

私は、うるま市が行っている取り組み Best5 とその取り組みを行ったらどうなるのかを質問しました。企画部長が答弁して下さった中でも、「学校施設整備事業」というのが印象に残っています。古くなった学校を新しくするという事業でうるま市は、お金は無いけど、子ども達のためにやると約束してくれました。とても楽しみにしています。また、島袋 俊夫市長を先頭に「経済の活性化と失業率の改善」、「教育・子育て支援の拡大」、「地元企業育成と誘致、そして地産地消」の三つを目標に掲げ、うるま市は進んでいるということもわかりました。詳しく、わかりやすく答弁して下さったおかげで、もっと議会に興味が出てきました。ありがとうございます。

今回の「こども議会」でうるま市は、市長をはじめ各部長の方々、議員の皆様がいることで支えられているんだと思いました。

私が考えたうるま市「平和で安全、皆が安心して暮らせるような楽しい町」でもあるように、私自身もうるま市のことについてもっと知り、考えていきたいです。

めったにできない貴重な機会に参加させていただき、本当にありがとうございました。とても良かったです。

6番 玉 城 颯 力 議員

私は今回の「うるま市こども議会」を通じて、多くのことを学びました。議会当日の始まる前も後も、緊張するあまり、覚えていませんでした。発表が終わっても大丈夫かなと不安でした。その後に、市長さんや副市長さんとお昼ご飯を食べました。税金のお話などをしてもらいました。市長さんはとてもわかりやすい言葉で、説明してくれたので、とてもためになりました。その時にやっと緊張が少しずつなくなり質問すればよかったなどと、思いました。したくても、僕の番は終わっていたので、このことが心残りになっています。

そのため、もう一つの夢ができました。それは、もう一度、同じ場所で質問することです。次は中学三年になって、もう一度挑戦したいです。次こそは絶対に緊張しないのでがんばりたいと、思います。本当にこんな経験あまりないので、やって良かったと思いました。

7番 與古田 彩 加 議員

私は、今回の「うるま市こども議会」でいろんな事を体験することが出来ました。まず、議場です。私は、そもそも議場はうるま市には無いはず、と思っていましたが今回、うるま市に議場が存在していたと知り、とても驚き、誰かに教えてあげたい、と思いました。

次にうるま市についてです。今まで、うるま市には住んでいるものの、あまり関心はありませんでした。お店が建設されているのを見ても、「あ、何か出来てる」程度にしかなかったと思います。ですが、他校の方々の質問、それに対する答弁を聞いているうちに、「えっ、なんで？」や「そうなんだ」など、知らなかったことがたくさんあり、他の人の質問にも関わらず、質問したいことが山ほどできました。今回、色んな事を聞いて、「うるま市はすごい!!」と、うるま市に誇りを持ち、関心がわきました。又、先輩に対しても改めて実感したことがあります。ふだん、私たち下級生は先輩に対して、「〇〇先輩」と呼んでいます。ですが、今回は副議長だったため、全員を「〇〇議員」と呼ばなければなりません。なので、同じ中学校の先輩方にも、「〇〇議員」と呼ばなければならず、1年生が2年生、3年生を呼び捨てにしている様で、とても変な感じがしました。

最後に、今回の「こども議会」ではとても多くのことを知り、学ぶことが出来ました。なので、今回学んだことを、今後の生活に活用していただければいいな、と思っています。たくさんのことを学ばせてくれたこども議会に感謝します。

8 番 ^{とう} ^{ばる} ^{りゅう} ^か 桃 原 琉 花 議員

私は「うるま市こども議会」に参加して、とてもいい経験ができました。議会会場では、自分の番がくると少し緊張したけど、一般質問を述べていくうちに練習通り読むことができたと思います。私は、私が住んでいる平安座島の交通について聞きました。建設部長が細かく分かりやすく答えてくれたおかげで自分自身、「いい質問が出来た。」と思い、ますますこれからの平安座島が楽しみに思えてきて、気持ちが少し楽になってきました。また、他の人の質問を聞いたので、うるま市について細かい所を勉強することができたと思います。

議会中以外にも、昼食を他中の生徒や市長をはじめ副市長、議員の方々と一緒に食べることができました。私は、周りの方々に彩橋校の特徴などをアピールすることができました。

このように、「こども議会」で沢山貴重な経験をすることができました。この経験を無駄にせず、彩橋校を引っ張っていくリーダーとしてこれからも頑張っていこうと強く思います。

9 番 ^{また} ^{よし} ^{とし} ^き 又 吉 敏 樹 議員

僕は、今回、「うるま市こども議会」に参加してうるま市のことで少し気になってい

たことを質問で聞けて、よかったです。「うるま市には『ふるさと納税』はありますか。」という質問に対して企画部長が「うるま市にはあるけれど、お礼の品はあげていない。」とわかりやすく教えて下さいました。「ふるさと納税」にはお礼の品は付きものだと思っていたけれど、実際はお礼の品をあげないというのが正しいということを知りました。

また、国会議員などが、居眠りしているのはあまり好ましいと思いませんでしたが、今回の経験を通して、その思いを強くしました。市民、県民、国民から選ばれた議員は、やはり真剣に議会に臨むものだと思います。そういう意味からも、うるま市のために日々話し合っている市議会議員はすごいなと思いました。

今回、この議会で、自分が聞きたいこと以外にも聞くことができ素晴らしい体験ができました。招待して下さいました皆さんへ感謝申し上げます。

10 番 ^{なが}永 ^{よし}吉 ^{そら}空 ^み未 議員

8月21日、うるま市で行われた「うるま市こども議会」で私は、議員というめったにない体験をしました。

議会で私は、議員となり、自分が質問する番をドキドキしながら待っていました。そして、自分の番が来ました。私はとても緊張していてその場にいるだけでもドキドキなのに、えらい人たちの前で質問するなんて、声がふるえ、あまりうまくいきませんでした。がくがくで質問を終わりとなりの席でご答弁を待っていました。最初は、難しい答弁かと思っていましたが、とても分かりやすくていねいな言葉でご答弁を下さったので、緊張がとけ、最後の言葉は堂々と言う事ができました。

昼食では、えらい人達と話をしながら食べ、私のとなりは、議長さんで話をしながら昼食をすませ、残った時間で、となりのこども議員とも、学校の話をしたりし、楽しく休憩時間を過ごせました。午後の部が始まりました。私の番は終わっていたので、ほかのこども議員の質問を聞いていました。質問の内容がすごくて、とても参考になりました。

議会場は、私が思っていたよりも、大きくて、すごい場所でした。めったにあえない人達とあい、めったにない体験をして、私は、とても光栄です。あと、私の疑問だった事に、答えてくれた方々にとっても感謝しています。このことをきっかけに、何かに活かしていきたいと思います。

11 番 ^そ祖 ^な納 ^{あお}青 ^い依 議員

私は、今年の夏休みに行われた「うるま市こども議会」に参加しました。「こども議会」とは、子ども達が生活の中で疑問に思っている事やこうして欲しいという要望を市の執行部の皆さんに質問するものです。私はこれを通して多くの事を学びました。

「こども議会」では、初めに自分でどういう質問をしたいか三つの質問を提出します。

私も三つ提出して、その中のうるま市にある公園に健康遊具が設置されているかという質問をする事になりました。

次に、質問文を考えました。一つの質問をするのに作文用紙1枚以上書くのはとても大変でした。でも、生徒会顧問のゆきか先生の助けもあり、無事書き終えることが出来ました。

最後に、その質問文を議場で読み上げました。うるま市の偉い人たちを前に読み上げるのは、とても緊張しました。失敗もしてしまっただけ、とても楽しかったです。

私は、「こども議会」を通してたくさんの事を学びました。うるま市について、たくさん知ることが出来たし、これから生きていく中で二度と経験する事の無い、貴重な体験をする事が出来ました。この経験を活かしていけるように頑張ります。

12番 やましろしゅんべい 山城竣平 議員

僕は、「うるま市こども議会」で色々な事が学べたと思います。まず、初めに、地震のことが浮かんできて、何となくこれをやってみようと思いました。でも、何も資料がなく、パソコンで情報を集めました。そして、他の県の対策などを見つけて、地震の色々な事を知ることが出来ました。

そして、こども議会が始まった時、初めはとても緊張しました。そして、議会というものが、とても集中した雰囲気で行っていることがわかりました。僕は、発表の時にとっても緊張したけど、終わるともっと質問したいことが浮かんざりました。でも、質問が終わっていたのでそれはできませんでした。

そして、お昼ご飯の時間になって、栄門教育長と話をした時、「自分もこういう事がある」とおっしゃっていたので、このような人達でも、自分と同じような事を経験しながらやってきているというのがわかりました。

この「こども議会」では、知らなかった事を知ったり、うるま市を良くするために考えたりして、とても学ぶことが出来ました。また、3年後に、次の中学生がうるま市を良くするために、がんばってほしいなと思いました。今回経験したことを社会に出た時、活用できるといいなと思いました。

13番 こじゃ 古謝 さくら 議員

私は、「うるま市こども議会」に参加してたくさんのことを学び、経験しました。その中でとても印象に残っているのは、二つあります。

一つ目は議会の雰囲気です。議会をやることになって、一番楽しみだったのが議場に入って議会を経験できることでした。緊張した中でも一人一人が堂々と発表していたのがすごいなと思いました。

もう一つは、私の知らなかったうるま市についてです。勝連城跡の外国人の来客数やアピールの方法、津堅島のゴミ問題、街灯の問題やそのつけ方、市長の仕事など、議会

を通して知ることが出来ました。

私は、この「こども議会」に参加して本当に良かったと思いました。

こども議会に参加して学んで、知識として残っていることを色んな友達などに話して、1人でも多くの人に議会について理解してほしいので、今回の経験を今後の学校生活に活かしていきたいと思います。

とてもいい思い出になりました。ありがとうございました。

14番 ^{みや} ^ぎ ^{りき} ^し 宮 城 力 志 議員

僕は、今年の夏休みに、「うるま市こども議会」のこども議員をやらせてもらいました。今年の「こども議会」は、三年ぶりのことで、僕は、関わる事ができて良かったと思います。

僕は、こども議員を体験してみて、議会で話をするとき、しっかりとした答弁席や議員席があり、威厳があって、市議会にふさわしい環境だと感じました。でも、いざ自分がその場に立ってみると、とても緊張しました。自分が質問を行うときには、モニター画面に写しだされて、皆の視線が一気に僕へと集中します。でも、その中で、発言をしなければなりません。なので、僕も、堂々と質問をしようとしたのですが、足がガタガタ震えていました。でも、市長に質問したときに、市長が、とてもうれしそうにしていたので、ほっとしました。

僕は、こども議員を終えて、とても貴重な体験ができたと感じました。いつもは、ふれない、議会というものを体験し、自分が思っていることを、いう事ができるので、議会に関心を持つことができました。なので、これからも、「こども議会」を行ったほうが良いと思います。

15番 ^い ^は ^ち ^{さと} 伊 覇 千 聖 議員

私は、8月21日の「うるま市こども議会」に参加して、初めてやる事ばかりでとてもワクワク、ドキドキしました。

実際に、自分が市に対して抱えている疑問として「津堅島のごみ問題と焼却炉の設置」について、しっかり質問することが出来たので良かったです。

また、答弁をして下さった市民部長の方が、わかりやすくより詳しく答弁して下さいました。そのおかげで、焼却炉の設置を早める事が出来ない理由には、焼却炉の導入から設置までの間、十分な調査や研究などが必要で、時間がかかる事を知ることができました。そして、市では住民全体の清掃活動やごみ出しルールの徹底などを引き続き行っていく事も知ることが出来ました。ありがとうございました。

この体験を通して、私が質問した「津堅島のごみ問題と焼却炉の設置」だけではなく、「学力向上」「うるま祭りの出し物」など今のうるま市で行っている取り組みについて、沢山知ることができ、良かったです。

私は、今回学んだ事をこれからの学校生活や将来に活かしていけたらと思っています。今回は、このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございます。

また、これからも「うるま市こども議会」の取り組みを行ってほしいです。

16番 しま ふくろ 島袋 りゅう 琉 議員

僕は、8月21日にうるま市役所で行われた「うるま市こども議会」に参加しました。初め僕は、議会が具体的に何をやる所かわからず、またしっかりできるか不安でした。

そして、質問を三つ程度考えました。その後、自分の質問が決まり質問文を考えました。何回か手直しをして、質問文が出来上がりました。

そして、当日うるま市の全ての学校の代表、先生方、そして教育委員会の人たちや答弁者として来て下さった方々がたくさん集まりました。思っていたより参加者が多くて緊張しましたが、質問をかむことなくいうことができました。

答弁もとても分かりやすく、とても詳しく説明してもらえました。また、他の人の質問でも色々日頃から疑問に思っていたことなども有り、その答弁も聞いたので良かったです。

一日だけの経験でしたが、とても貴重な経験ができました。この体験をこれからの色々な事に活かしていきたいです。ありがとうございました。

17番 やましろ あいり 山城 亜衣璃 議員

私は、「うるま市こども議会」に参加して勉強になったことがたくさんありました。市長の仕事やゴミ袋の値段、ふるさと納税制度、学力向上のための対策など、うるま市が様々な課題に取り組んでいることを学びました。

私は、議員一人一人の一般質問に対して、ゆっくりとわかりやすく答弁してくれる姿勢に感動しました。私の一般質問の答弁は工事期間やいつ頃に工事終了なのかなど、きちんと答えてくれてとても参考になりました。

私が、印象に残っている質問は、市長の仕事についてです。この質問に対して、企画部長と市長が答弁して下さいましたが、市長の仕事の多さに驚き、また本土への出張などとても忙しいことがわかり、責任の重い仕事であることがよくわかりました。

他にも印象に残っている質問は、いっぱいありましたが、その中でも強く印象に残っているのは、少子高齢化が進む現在の子育てに対する支援についての質問です。

私は、これまでそんなことにはあまり関心がありませんでした。しかし、この質問を聞いて、これからのうるま市についてどうすれば住みやすくなるのか考えるようになりました。

特に感心したのは、再質問・再々質問があったことです。鉄軌道の導入についての質問や学力向上のための質問をした二人が自分の納得がいくまで、再質問・再々質問をしていました。私は、一般質問をするだけで精一杯で再質問をする余裕もなかったので、

疑問に思ったことがあれば、納得するまで質問していく姿に感心し、自分もあんなふうになりたいと強く感じました。

「こども議会」を通して、私は議員の仕事の大変さや役所の様々な所で市民の生活をよりよくするために、効率的に仕事が分担されていることがわかりました。普段の生活と大きくかかわっていることがわかり、とても勉強になりました。

私は今、生徒会の活動に興味があります。この経験を通して、次の年は生徒会役員になってみたいと思うようになりました。そして、自分たちの学校自治をよりよくする活動をしていきたいと思っています。

18番 きん じょう 金城 すばる 昂 議員

今回、自分は学校代表として「うるま市こども議会」に参加させていただきました。議会と言うと、今までの自分だともものすごく固苦しいものだと考えていました。

しかし、その考えは大きく変わる体験となりました。「こども議会」を通して、自分が思ったことは、意見・自分が思ったことを相手に述べる・伝えることの大切さです。

自分は、「鉄軌道」について、予算や土地面について質問しました。市執行部の方々、自分達子ども議員の質問について、細かく、そしてわかりやすく答弁して下さいました。

実際に、議場に座って話を聞いたり、自分の意見を述べることで、普段、議員の方々が市民の為に、さまざまな政策、案を打ち出してくれているんだという思いでいっぱいになり、同時にそういった方々と意見の応答ができたことは、自分の中でとてもいい経験になりました。普段、めったにできない経験というのは、自分ももちろんですが、それは相手の為にもこの経験を活かしていくのが大切なのではないかと思います。

なので、生活の中で何か活用できる場面を見つけて、まずは自分が実践してみる、そして、相手に伝えて広げていく、これができるれば自分の生活はより一層充実したものになると思います。

「自分の意見を述べることの大切さ」、議会で学んだことを活かして、是非役立てていきたいです。

19番 たか はし み ゆ 高橋美結 議員

今回、参加させて頂くことができた、「うるま市こども議会」は、とても楽しく色々と経験させていただきました。

今回の「こども議会」は、うるま市合併 10 周年記念という大切な節目の時なので、そんな時に参加させて頂けたことと議長という役割に就かせて頂けたことは、嬉しくもあり、誇らしく感じました。

しかし、同時に緊張と不安もありました。前回の会議録を見ながら練習したり、発音をはっきりさせる練習をしたりしましたが、一番自信がついたのは、リハーサルでの

様々な方々からのアドバイスでした。そのおかげでリラックスをして、議長席に着き、慌てず焦らずに進行をすることができました。

一般質問では、聞き取りメモのペンを忘れてりましたが、落ち着いて行うことができ、再質問もさせて頂くこともできました。

こんなにも、多くの貴重な体験ができたと共に、議会の大切さ、大変さを知り、うるま市のことも新しく知ることができました。

うるま市すべてのことを考えるのは無理かもしれませんが、せめて、私の質問書に関する事物に目を向け、何ができるか、何をしたらいいのかを考えていきたいと思っています。

今回、「こども議会」に参加させて頂けたことは、私の人生でまたとない経験になりました。ありがとうございました。

20番 おお わん さ き 大 湾 咲 希 議員

私は、夏休みにうるま市役所で行われた、「うるま市こども議会」に参加しました。

「こども議会」に参加すると決まった時、私は議会について、よくわかりませんでした。でも、事前打ち合わせで議会の流れを知り、本番が楽しみになりました。また、こども議員一人一人一般質問を行うという事だったので質問を考えました。

そして、議会当日になりました。議場に入るとカメラが回っていてこども議員のネームプレートが用意されていて、「本格的だなあ」と思い少し緊張しました。

私の一般質問は、午後の部でした。お昼ご飯を食べている時に他校の人としゃべって友達になりました。自分の学校についてやスポーツの話などで盛り上がりました。知らない人ばかりで緊張していましたが、緊張が和らぎました。

そして迎えた一般質問。かまないか、失敗しないか心配でしたが無事質問することが出来ました。市役所の方の答弁もとてもわかりやすかったです。

こども議員の質問の中には、私が今まで気づけなかった課題を見つけて質問している人や分からない事を何度も質問している人もいて、「すごいなあ」と感心しました。

議会は、私たち市民の声が反映される大切な場だという事が分かりました。本当に充実した議会でした。一日だけど議員になれて良かったです。ありがとうございました。

21番 うえ はら わたる 上 原 渉 議員

僕は、市長に質問ができると生徒会顧問から聞き、「うるま市こども議会」に入りました。最初、僕は「そんな大役ひき受けて大丈夫だろうか」と不安で、やめた方がいいのではないかと思いました。しかし、両親から、「こんなチャンスないよ。こんな機会があって羨ましい。」などと言われ、やってみようと思えました。

僕の質問内容は、「うるま市の予算はどこから来ているのか。」です。とても気になりました。本番当日、リハーサルよりも多くの人が集まり、午前の部・午後の部があり、

いつもより緊張が増し、失敗しないか心配でした。

僕は、いざ！という時できない性格だったのですが本番ではしっかりと質問できたと思います。答弁も教育部長がして下さり、とてもうれしかったです。

僕は、この経験を通して一つ成長がありました。この体験が無ければ自分の弱みを克服し、成長することもなかったと思うので、とても感謝したいです。

22 番 ^{やま}山 ^ね根 ^さ咲 ^え笑 議員

当日まで議会のイメージがつかなかった私は、不安な気持ちでいました。三年に一度の大きな企画なので、意見を述べた作文の提出には力を入れました。作文は、「私達からの目線で、私らしく」に重点をおき、日頃思っている疑問を、ありのままに表現しました。本番では、しっかりと自分の主張をすることができて良かったです。

又、他のこども議員の意見なども聞いて、とても良い勉強になりました。「うるま市のゴミ袋の値段」や「うるま市の施設について」など、様々な意見がありました。大人が気づいてなかったことを、こども議員が指摘することで、うるま市が抱えている課題の幅が広がったと思います。今後、出たうるま市の欠点を改善できるように、頑張っしてほしいです。最後に、短い期間でしたが「議員」というめったに経験できないことをさせてもらい、本当にありがとうございました。

23 番 ^い伊 ^{とう}藤 ^ななぎ ^ささ 議員

今回、「うるま市こども議会」に参加して、『参加してよかった』と心底思いました。なぜなら、議会場に入ることも、市政の方々と意見を交わし合うのも、初めての体験で、これから先も体験できるかわからない。そんな貴重な体験ができたからです。

自分の番になったとき、『議長』と呼ぶのが緊張したけど、自分の一般質問を言うときは落ち着いて言うことができました。私の質問に、ていねいにわかりやすく答弁して下さいました。本当にありがとうございました。

他校の人達は、私自身が質問したいことや疑問に思っていたことを質問していて、それを知ることができ、とても楽しく充実した一日を過ごすことができました。

今回は、とても貴重な体験ができて、将来はこんな仕事に就くのもいいな、と思いました。今回は、本当にありがとうございました。

24 番 ^な名 ^ご護 ^{りょう}峻 ^が河 議員

今回、うるま市合併 10 周年記念という大事な節目に「うるま市こども議会」に参加させて頂き大変良い体験となりました。

普段私どもが疑問に思っていることや、市民だからこそ思う改善策など、多種多様な質疑に、手を抜くことなく真摯に答弁して頂いたことは、正にうるま市職員として相応しい方々だと改めて感じました。

私は、今回の「こども議会」で各議員から繰り出された質問は共感に値し、市職員の答弁にはどのような答弁が返ってくるかと、只々喰いいるように聞くだけでした。

昼食時には、市長や教育委員会の皆様が私たちに積極的に話し掛けて下さった為、場の雰囲気は一気に和み、午後の部では、皆に安心感が含まれた状態でのぞむことが出来た事と思います。

この度は、私どもに貴重な体験をさせて頂き厚く御礼申し上げます。今後ともうるま市が益々発展していきますよう願っております。

25番 ^{もり}森 ^ね根 ^{あい}愛 ^か夏 議員

私は、3年に1度の貴重な経験ができ、とてもうれしく思っています。私が質問する順番は最後でしたので、最初から最後までずっと緊張していました。私は、市執行部の方々に質問が出来る事を先生から聞き、とてもこども議会に参加したいと思いました。けど、こども議会について何もわからないで「やる」って言ってしまったので、とても不安でした。だけど、自分が今までに思っていたことを、市執行部の方々に質問できるのは今しかないと思うと、頑張る事ができました。私が質問したテーマは、「うるま祭りなどで出し物はできるか」でした。私は、この質問は以前から気になっていたもので、この機会と言う事ができ、とても光栄に思っています。さらに、私の質問に対し、丁寧な答弁をしていただき、少し驚いてしまう程でした。そして、市長や議長さんたちとの昼食や各学校の人達との交流ができ、貴重な経験ができました。ありがとうございました。

写 真

任命証交付式



各学校より、こども議員として選ばれた皆さんが任命証交付式（平成27年7月15日）に出席。



うるま市教育委員会 教育長 栄門 忠光より任命証が交付される。こども議員誕生の瞬間。



合併10周年記念として、開催されるこども議会に思いっきり臨んで下さいとこども議員を激励。

オリエンテーション



任命証交付式終了後、議会運営等（仕組み・流れ）の説明を議会事務局より受ける。



映像を交え、こども議会当日の流れを説明。



こども議会議長に立候補者1名。議長決定。



こども議会副議長に4名が立候補する。



4名でくじを引き、副議長が決定。



会場を移動し、初めての議場を見学する。



本番に向け、最終確認を全員で行う。

リハーサル



議事進行について、議会事務局職員から指導を受けるこども議会議長と副議長。



質問までの一連の流れについて指導を受ける。



こども議員を優しく見守る議会事務局職員。



全員で議場での取り決め事項を確認。



起立。礼。ちゃんと出来たかな。



本番前の控室。原稿を読み合わせる。



本番間近の議場に漂う緊張感。

平成27年度うるま市こども議会 当日



こども議員、市執行部が議場に集結。
いよいよこども議会が始まる。



議長の議事進行でこども議会が開会。



日頃、市政に対して持っている意見や希望、疑問等を質問するこども議員。



こども議員の質問に対し、わかりやすく答弁する市民部長。



市長自ら、市長の仕事について説明する。



昼食タイム。緊張がほぐれたのか、自然と笑みがこぼれるこども議員と市長。



午後からは、議事進行を副議長に交代。



質問後、答弁に聞き入るこども議員。

うるま市こども議会議員



島袋 優 議員



與那嶺 真弓 議員



長濱 光希 議員



外間 弥音 議員



具志川 優梨 議員



玉城 颯力 議員



與古田 彩加 議員



桃原 琉花 議員



又吉 敏樹 議員



永吉 空未 議員



祖納 青依 議員



山城 竣平 議員



古謝 さくら 議員



宮城 力志 議員



伊覇 千聖 議員

うるま市こども議会議員



島袋 琉 議員



山城 亜衣璃 議員



金城 昂 議員



高橋 美結 議員



大湾 咲希 議員



上原 渉 議員



山根 咲笑 議員



伊藤 なぎさ 議員



名護 峻河 議員



森根 愛夏 議員



こども議会宣言決議案 提案説明



全員起立で可決



こども議会議長あいさつ



こども議会副議長あいさつ



こども議会議場風景



議会議長あいさつ うるま市議会議長 大屋 政善



市長あいさつ うるま市長 島袋 俊夫



講評 うるま市教育委員会 教育長 柴門 忠光

集合写真



平成 27 年
うるま市こども議会会議録

編集・発行：うるま市教育委員会

〒904-2392

うるま市勝連平安名 3032 番地

電話 (098) 978-2201

FAX (098) 978-2745
